

実態把握調査結果 (熊本県)

Agenda

1. 保護者向け調査の単純集計結果 まとめ 3
2. 保護者向け調査の単純集計結果 資料 7
3. 保護者向け調査のクロス集計結果 まとめ 32
4. 保護者向け調査のクロス集計結果 資料 35
5. 子ども向け調査の単純集計結果 資料 46

1

保護者向け調査の単純集計 結果まとめ

1. 熊本県保護者向け調査単純集計まとめ

- 熊本県で実施された保護者向け実態把握調査の単純集計結果を整理しております。

単純集計の結果(全体の傾向)

基礎情報

- 実査期間：2025年9/26～11/30
- 調査対象：小児慢性特定疾病医療受給者証をお持ちのご家庭
- 調査方法：Web調査
- 回答数：135件

- 子どもの年齢としては、11歳の保護者からの回答が9.6%と最も多く、次いで10歳からの保護者からの回答が多くなっています。
- 在籍している保育・教育施設については、「小学校」が40.0%と最も多く、次いで「中学生」が11.9%となっています。

- 医療的ケアを行っているのは、56.2%（「自己注射」を医療的ケアに含まない場合は34%）であり、「医療的ケアを行っていない」の43.7%の回答が最も多く、次いで「自己注射」が22.2%と多くなっています。

- 障害の有無として、「あてはまるものはない」を除き、「療育手帳を持っている」が31.9%と最も多く、次いで「身体障害者手帳を持っている」が31.1%と多くなっています。

医療や福祉サービス

- 医療や福祉サービスの利用状況として、「利用していない」が54.1%と最も多く、次いで「利用している」が43.0%と多くなっています。
- 利用しているサービスとして、「障害児通所支援」が72.1%と最も多く、次いで「訪問看護」が39.3%と多くなっています。
- サービスを利用していない理由として、「サービスを必要としていない」が75.0%と最も多く、次いで「利用できるサービスを知らない」が22.4%と多くなっています。

- サービスの情報入手として、「特に困らなかった」が55.6%と最も多く、次いで「相談先がわからなかった」が32.6%と多くなっています。
- サービスの情報入手方法は、「医療機関」が53.3%と最も多く、次いで「インターネット」が48.9%と多くなっています。

2. 熊本県保護者向け調査単純集計まとめ

- 熊本県で実施された保護者向け実態把握調査の単純集計結果を整理しております。

単純集計の結果(全体の傾向)

災害

- 災害時に備えていることとして、「準備していない」が41.5%と最も多く、次いで「防災バッグ」が36.3%と多くなっています。
- 災害時に連携できる医療機関として、「医療機関」が59.3%と最も多く、次いで「特になし」が33.3%と多くなっています。
- 災害時の不安として、「避難所の環境」が49.6%と最も多く、次いで「治療の継続」が43.0%と多くなっています。

不安や悩み

- 在宅の生活における不安や悩みが、「どちらかというところ」が33.3%と最も多く、次いで「ない」が27.4%と多くなっています。
- 不安や悩みとして、「子どもの成長・発育・発達」が69.4%と最も多く、次いで「子どもの病気の悪化」が63.9%と多くなっています。
- 就労について、「一般就労を考えている」が34.8%と最も多く、次いで「年齢が低いため、考えていない」が32.6%と多くなっています。
- 就労に関する不安や悩みは、「ある」が53.3%、「ない」が46.7%です。
- 自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」が94.8%と最も多く、次いで「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が94.0%と多くなっています。

3. 熊本県保護者向け調査単純集計まとめ

- 熊本県で実施された保護者向け実態把握調査の単純集計結果を整理しております。

単純集計の結果(全体の傾向)

相談

- 不安や悩みを「相談した/相談する予定」は59.7%と最も多く、「同居している家族や親族」「在籍している保育所・学校」が相談先として多くなっています。
- 相談しなかった理由としては、「相談できる場所がない」が40.7%と最も多く、次いで「相談する相手がいなかった」が33.3%と多くなっています。
- 普段相談できる相手としては、「同居している家族や親族」が76.3%と最も多く、次いで「医療機関」が53.3%と多くなっています。
- 相談窓口の認知は昨年度から変化はありませんが、相談窓口の利用は昨年度より20.5ポイント増えました。
- 実際の利用者は「認定NPO法人NEXTEP」を利用していました。
- 相談体制について、「困っていることはない」が45.5%と最も多く、次いで「相談しても解決できていない」が36.4%と多くなっています。
- 相談したい内容は、「将来の生活の見通し」が45.2%と最も多く、次いで「小児科から成人医療機関への移行」が41.5%と多くなっています。
- 利用しやすい相談手法として、「SNS」が51.9%と最も多く、次いで「来所」が45.2%と多くなっています。
- 相談窓口を利用しない理由は、「相談する必要がないと思ったから」が50.0%と最も多く、次いで「利用する時間がなかった」が25.0%と多くなっています。

支援の活用

- 自立支援事業の説明を受けたか、「わからない/覚えていない」が59.3%と最も多くなっています。
- 自立支援事業の説明を受けた人のうち、支援を「活用していない」が77.8%となっています。
- 活用しなかった理由は「必要ないから」が38.1%と最も多く、次いで「参加する時間がないから」が33.3%と多くなっています。

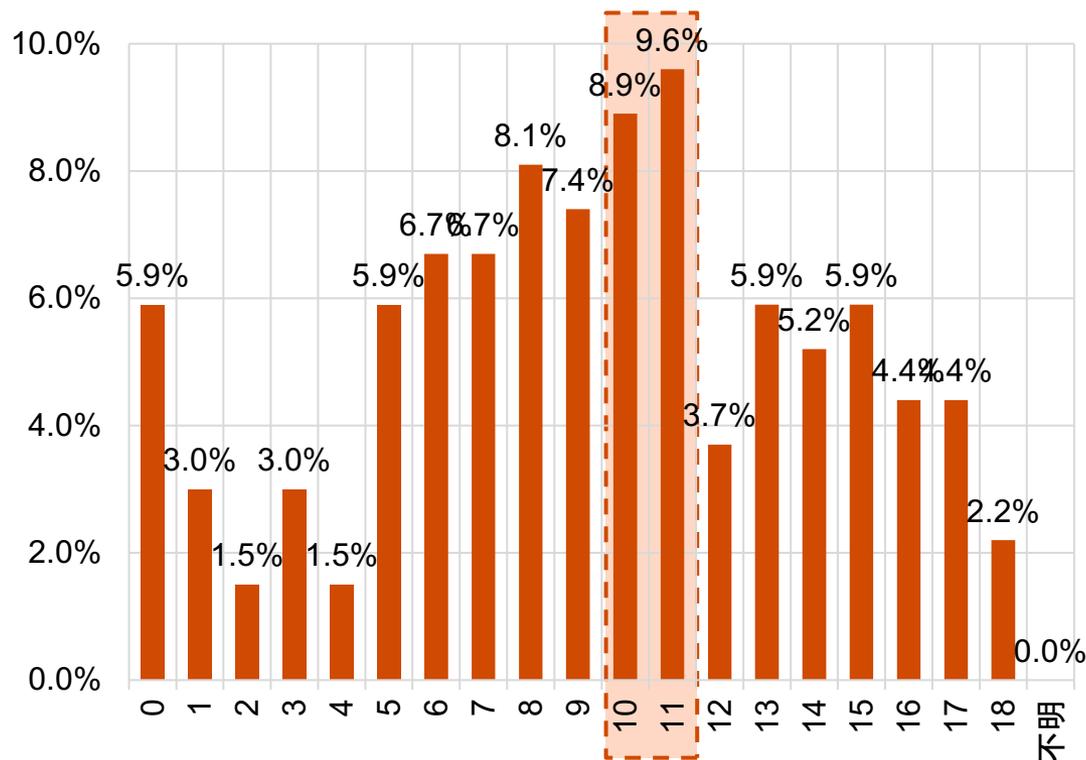
2

保護者向け調査の単純集 計結果 資料

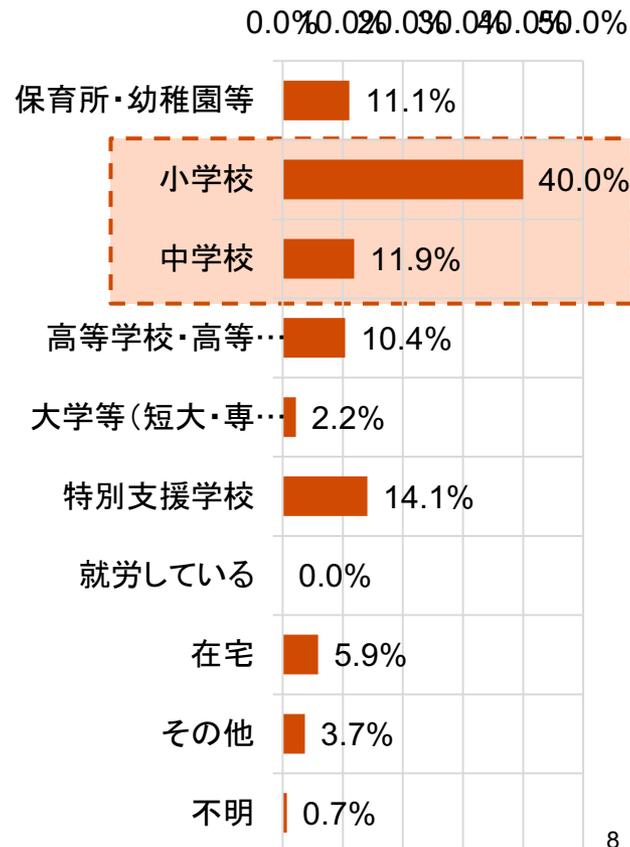
1. 【基礎情報】子どもの年齢

- 子どもの年齢としては、11歳の保護者からの回答が9.6%と最も多く、次いで10歳からの保護者からの回答が多くなっています。
- 在籍している保育・教育施設については、「小学校」が40.0%と最も多く、次いで「中学生」が11.9%となっています。

問 5. お子さまの年齢をお答えください。(令和7年4月1日
時点で)
(n=135、単一回答)



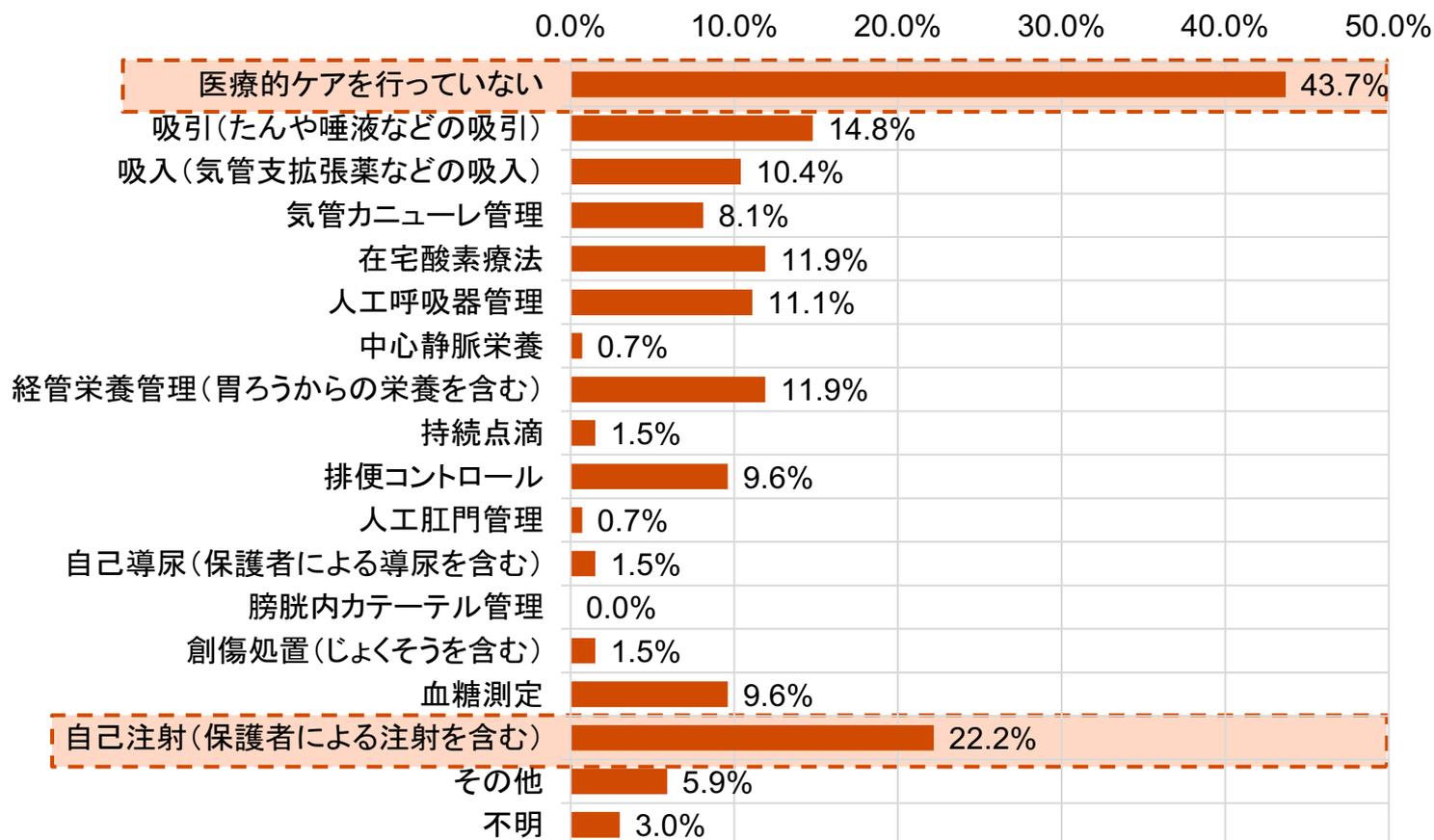
問6. お子さまが、現在、在籍して
いる保育・教育施設等をお答えく
ださい(n=135、単一回答)



2.【基礎情報】医療的ケアの有無

- 医療的ケアを行っているのは、56.2%（「自己注射」を医療的ケアに含まない場合は34%）であり、「医療的ケアを行っていない」の43.7%の回答が最も多く、次いで「自己注射」が22.2%と多くなっています。

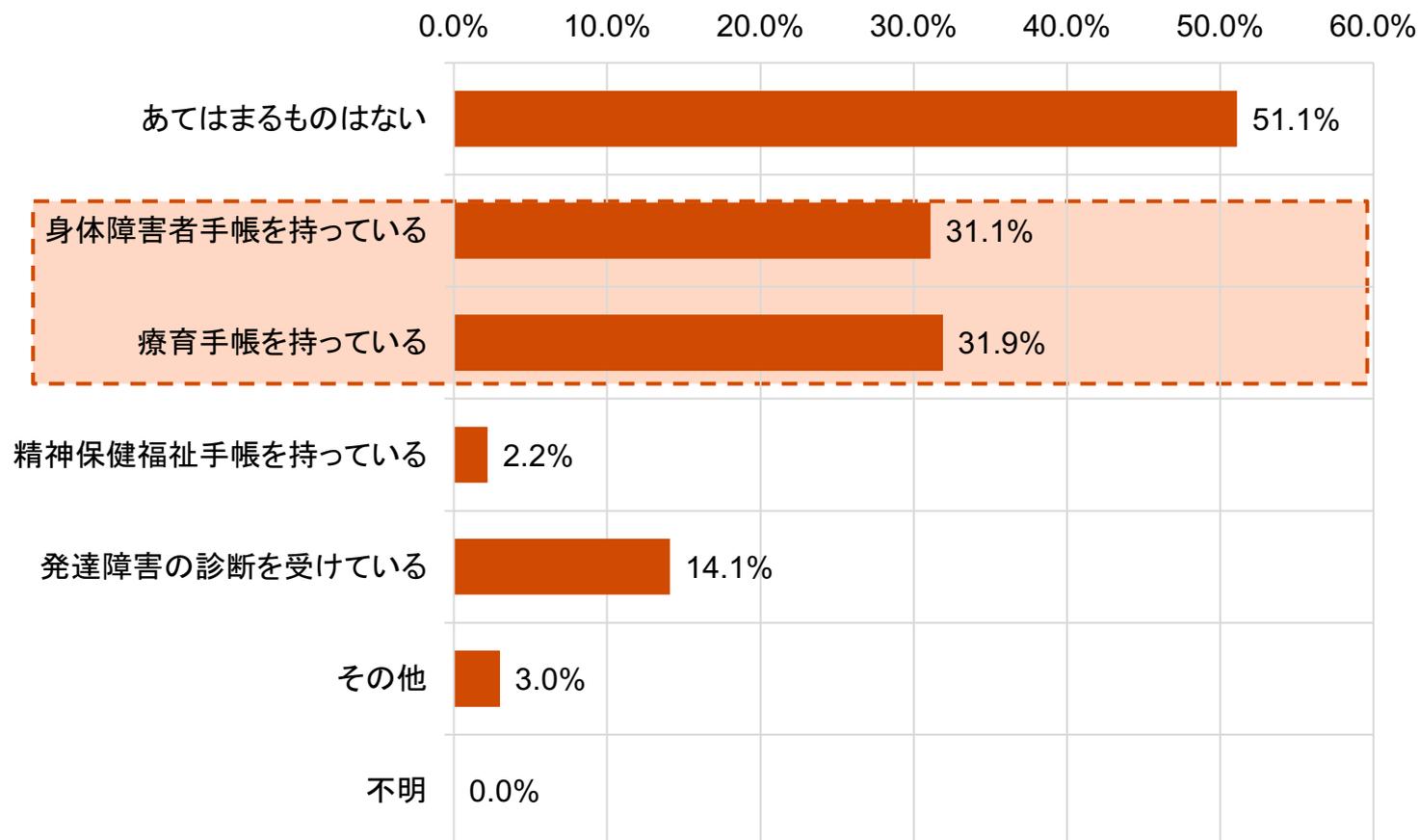
問9. 次のうち、お子さまが、家庭で行って(受けて)いる
医療的ケアをお答えください。(n=135、複数回答)



3.【基礎情報】障害の有無

- 障害の有無として、「あてはまるものはない」を除き、「療育手帳を持っている」が31.9%と最も多く、次いで「身体障害者手帳を持っている」が31.1%と多くなっています。

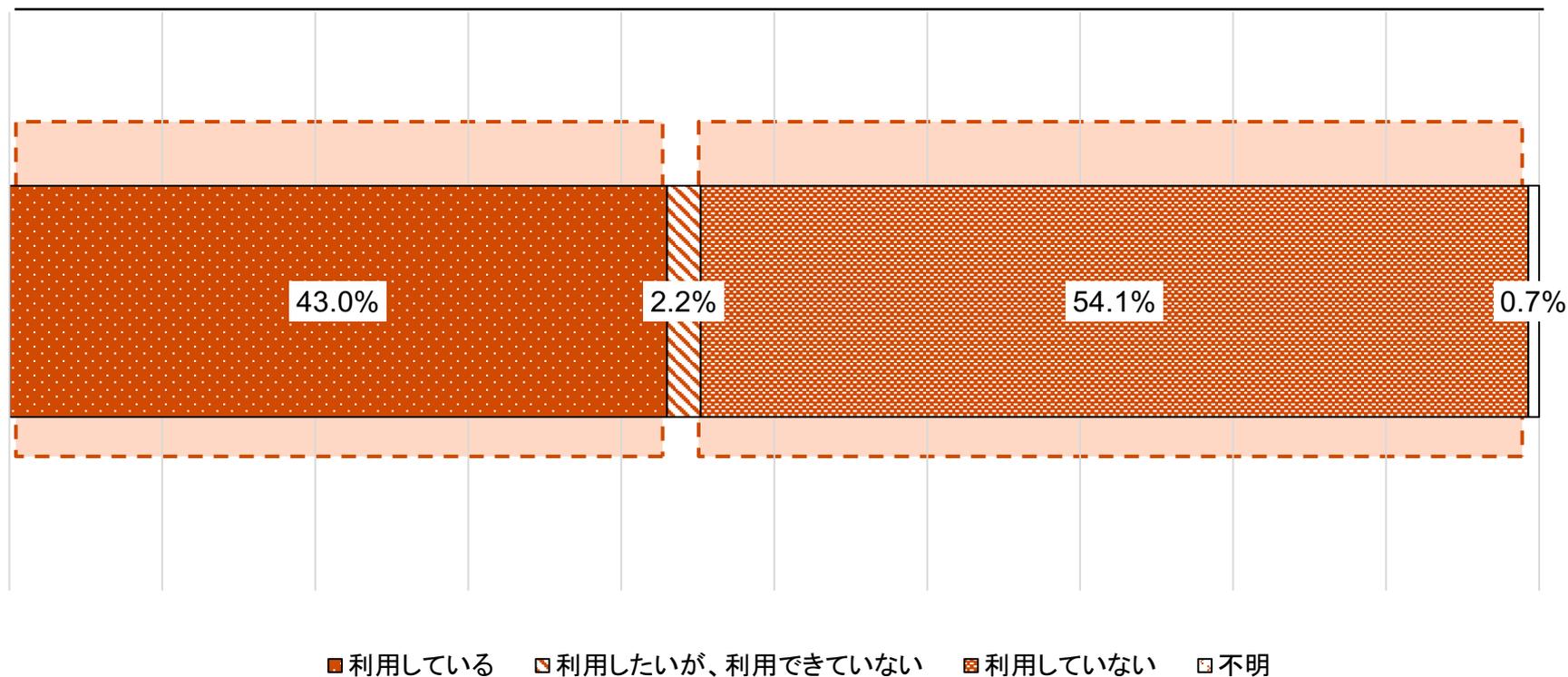
問21.お子さまの心身の状態について、あてはまるものをお答えください。(n=135、複数回答)



4. 【医療や福祉サービス】利用有無

- 医療や福祉サービスの利用状況として、「利用していない」が54.1%と最も多く、次いで「利用している」が43.0%と多くなっています。

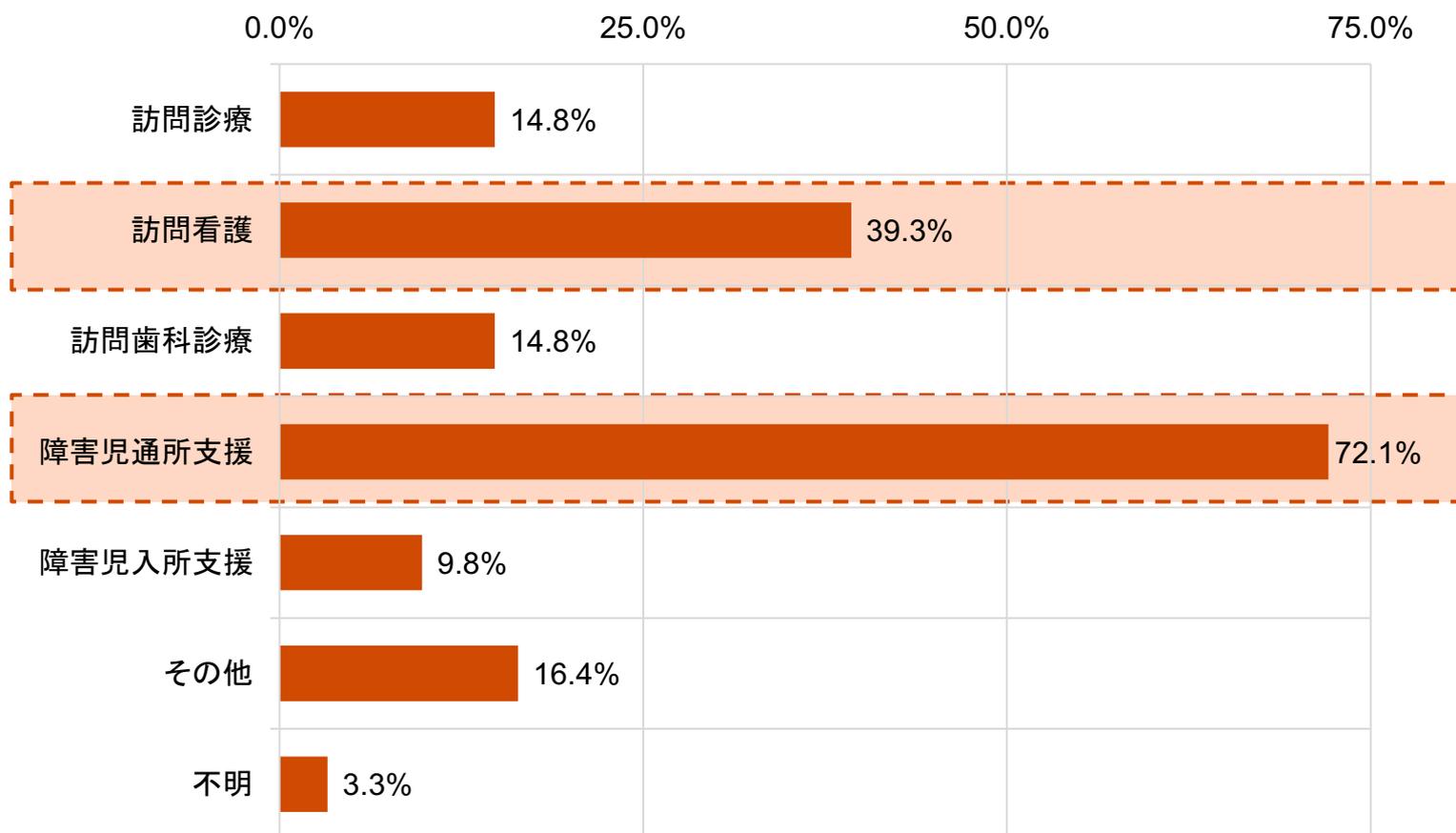
問22.お子さまは、現在、通院や、保育所・幼稚園に在籍する以外で、医療や福祉に関するサービスを利用していますか。(n=135、単一回答)



5. 【医療や福祉サービス】利用しているサービス内容

- 利用しているサービスとして、「障害児通所支援」が72.1%と最も多く、次いで「訪問看護」が39.3%と多くなっています。

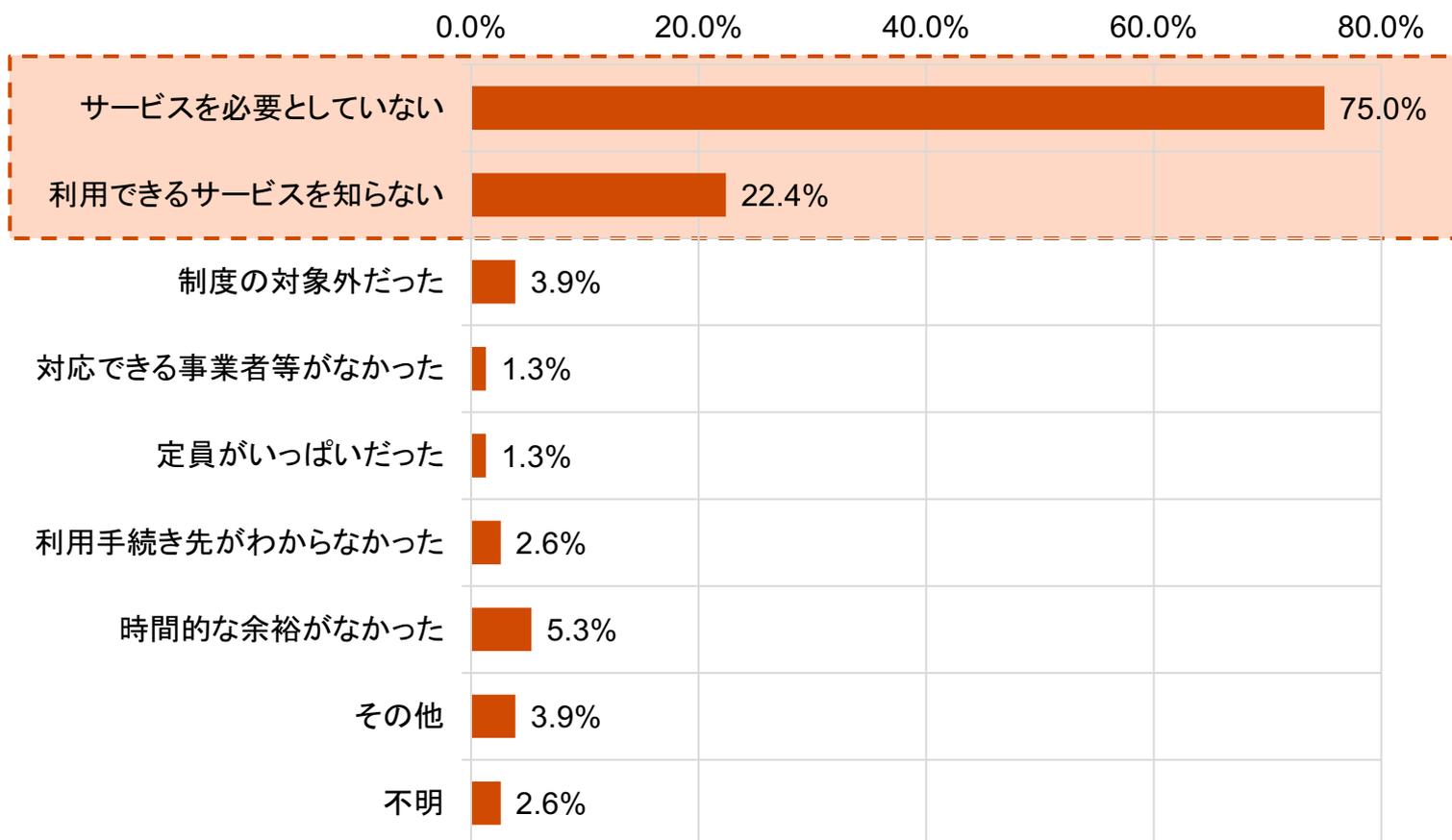
問23.利用している、もしくは利用を希望しているサービスをお答えください。(n=61、複数回答)



6. 【医療や福祉サービス】サービスを利用していない理由

- サービスを利用していない理由として、「サービスを必要としていない」が75.0%と最も多く、次いで「利用できるサービスを知らない」が22.4%と多くなっています。

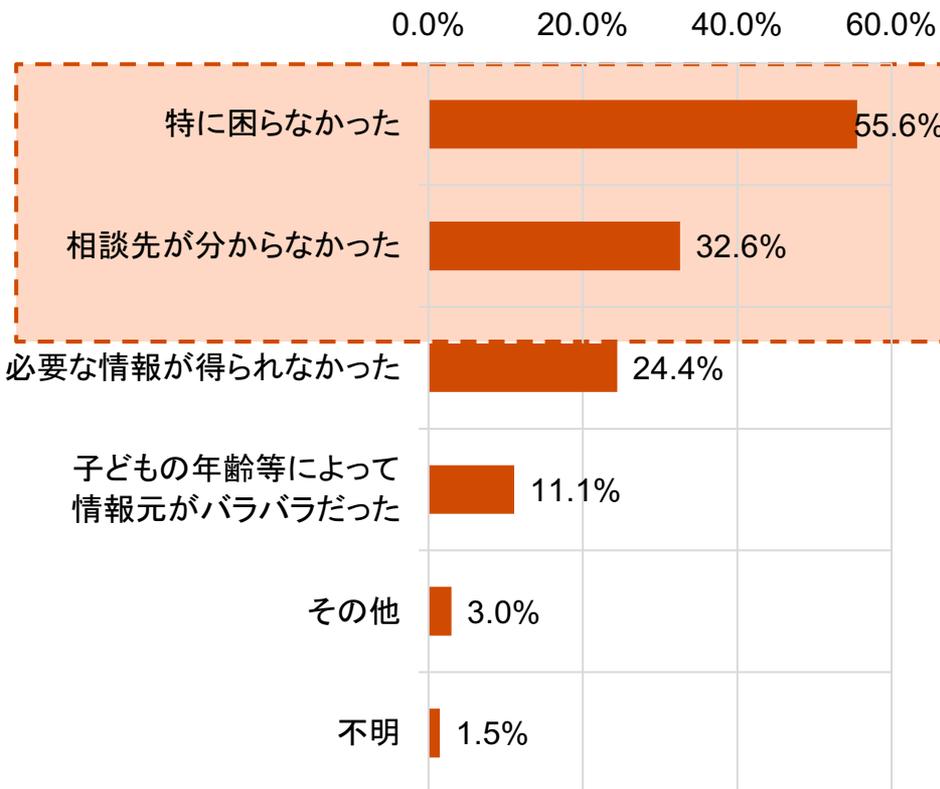
問24. 利用していない(利用できていない)理由をお答えください。(n=76、複数回答)



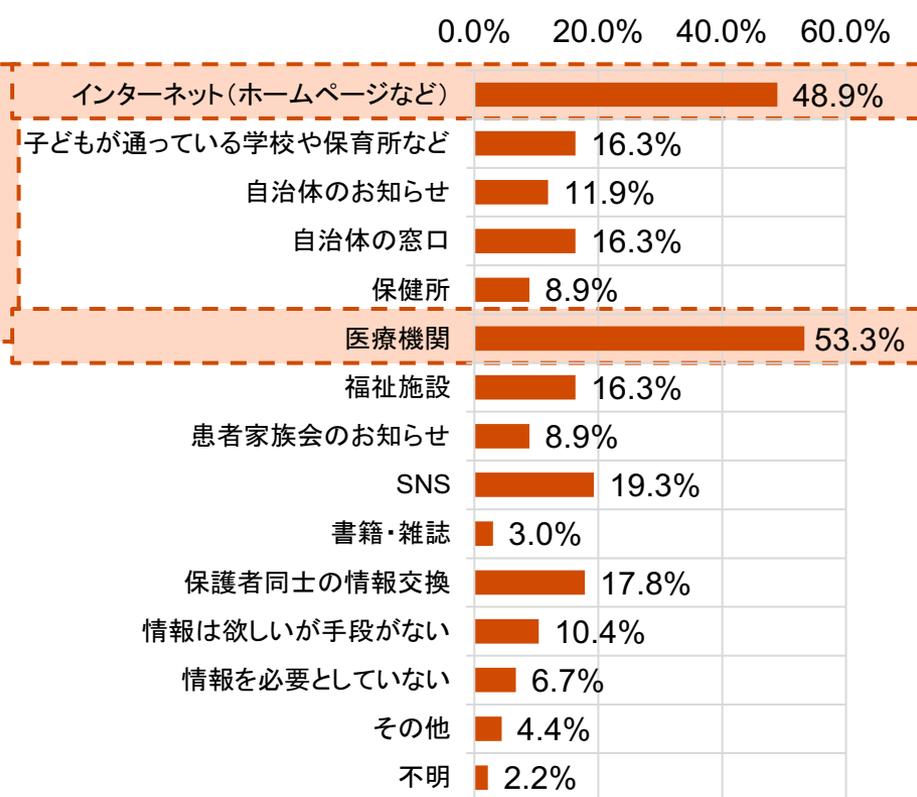
7. 【医療や福祉サービス】医療・福祉サービス等の情報入手

- サービスの情報入手として、「特に困らなかった」が55.6%と最も多く、次いで「相談先がわからなかった」が32.6%と多くなっています。
- サービスの情報入手方法は、「医療機関」が53.3%と最も多く、次いで「インターネット」が48.9%と多くなっています。

問25.あなたは、医療・福祉サービス等の情報を入手する際に困ったことはありましたか。(n=135、複数回答)



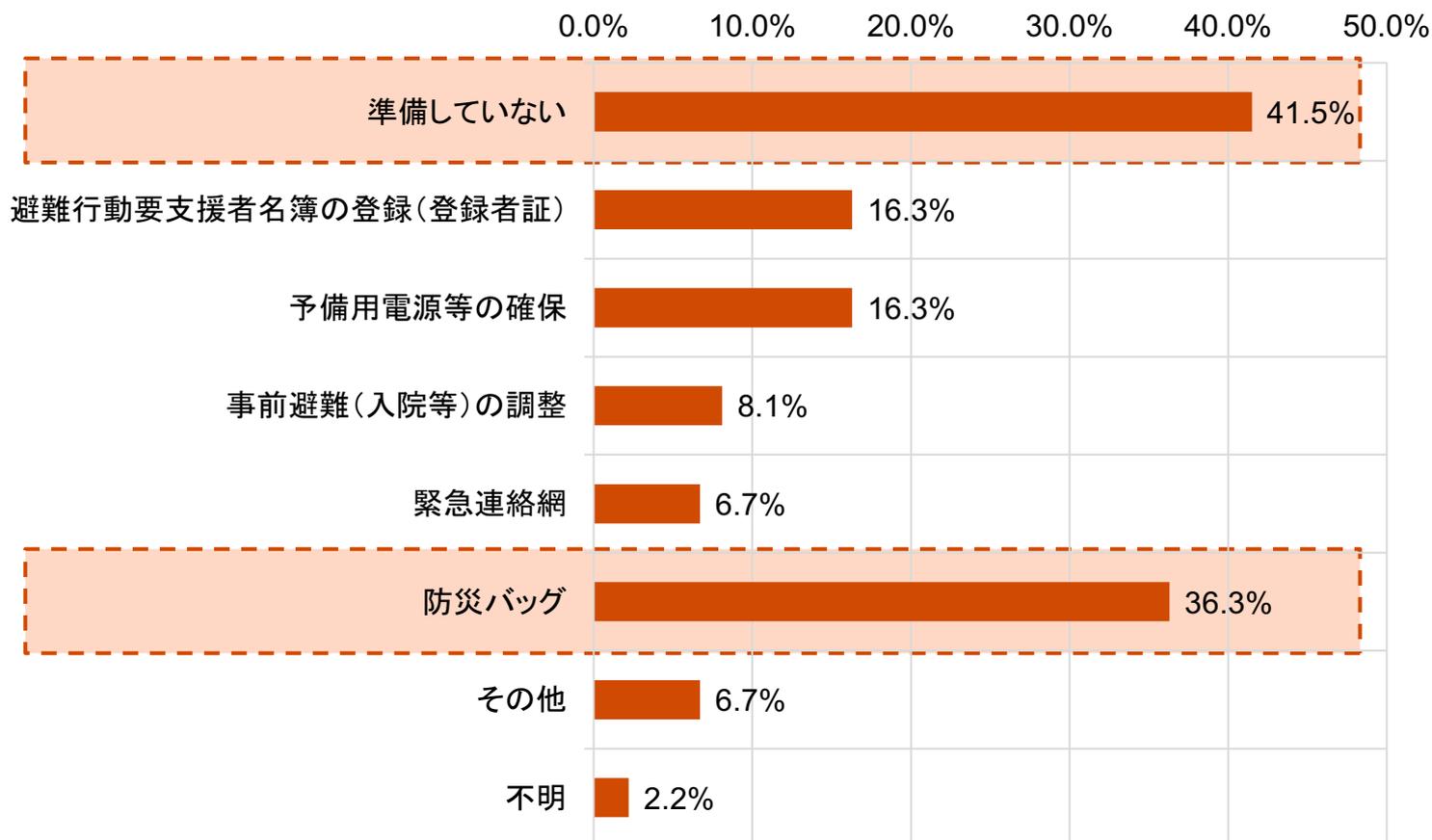
問26.あなたは、お子さまに関する医療や福祉サービスの情報をどのような手段で入手していますか。(n=135、複数回答)



8. 【災害】災害時に備えて準備していること

- 災害時に備えていることとして、「準備していない」が41.5%と最も多く、次いで「防災バッグ」が36.3%と多くなっています。

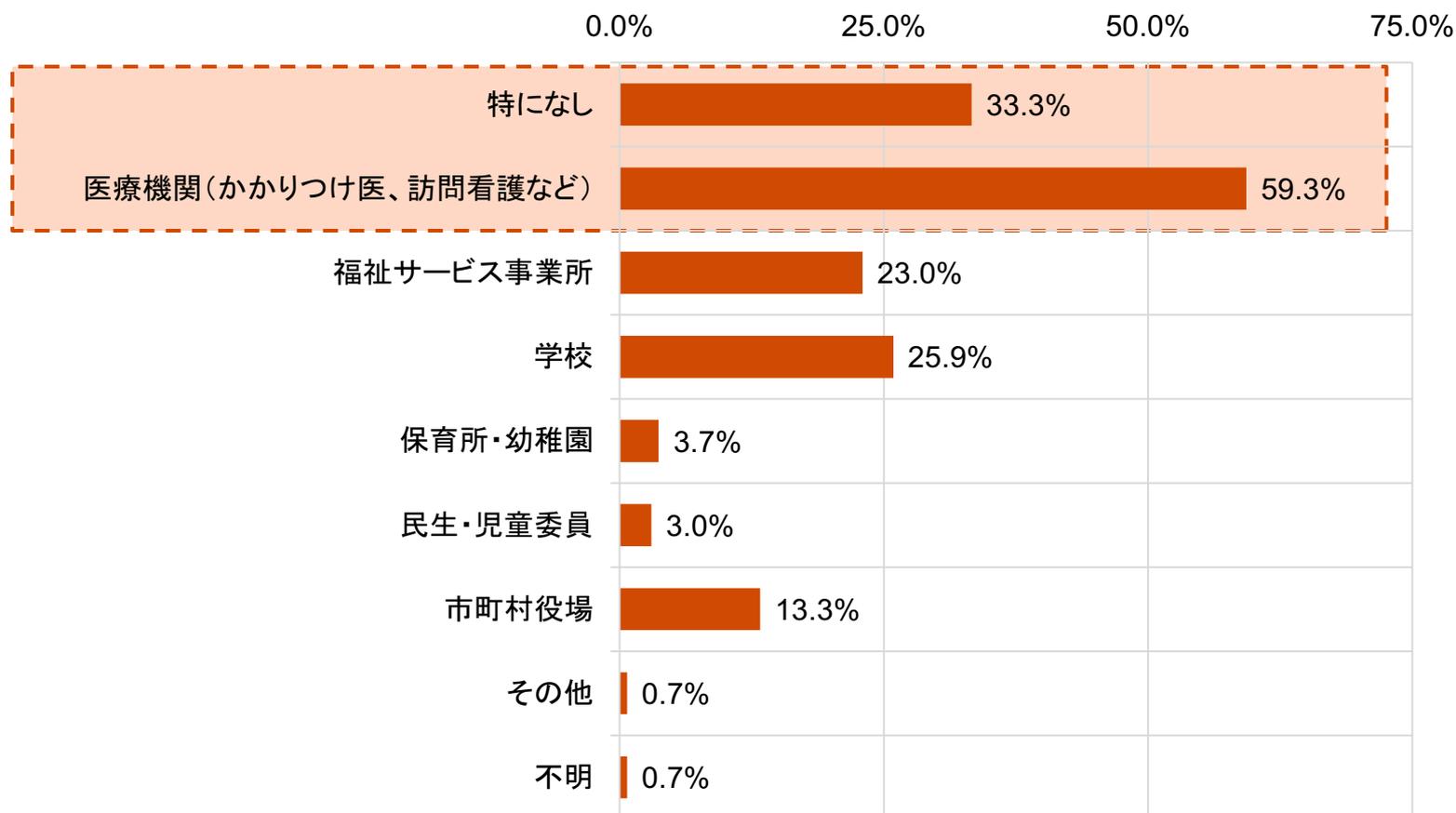
問12.災害時に備えて準備していることはありますか。(n=135、複数回答)



9. 【災害】災害時に連携できる機関

- 災害時に連携できる医療機関として、「医療機関」が59.3%と最も多く、次いで「特になし」が33.3%と多くなっています。

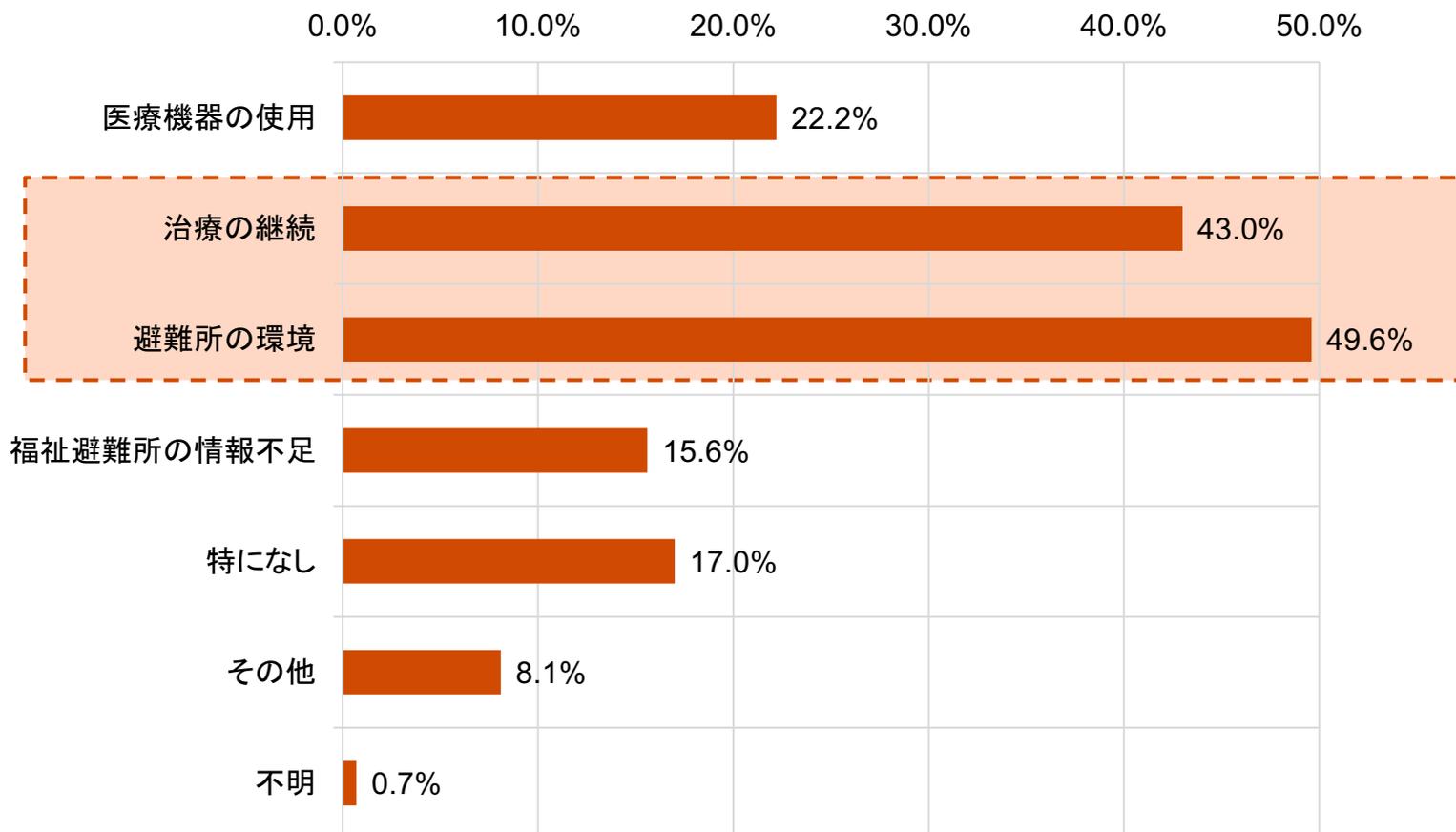
問13.災害時に相談、連携できる機関はありますか。(n=135、複数回答)



10. 【災害】災害時の不安

- 災害時の不安として、「避難所の環境」が49.6%と最も多く、次いで「治療の継続」が43.0%と多くなっています。

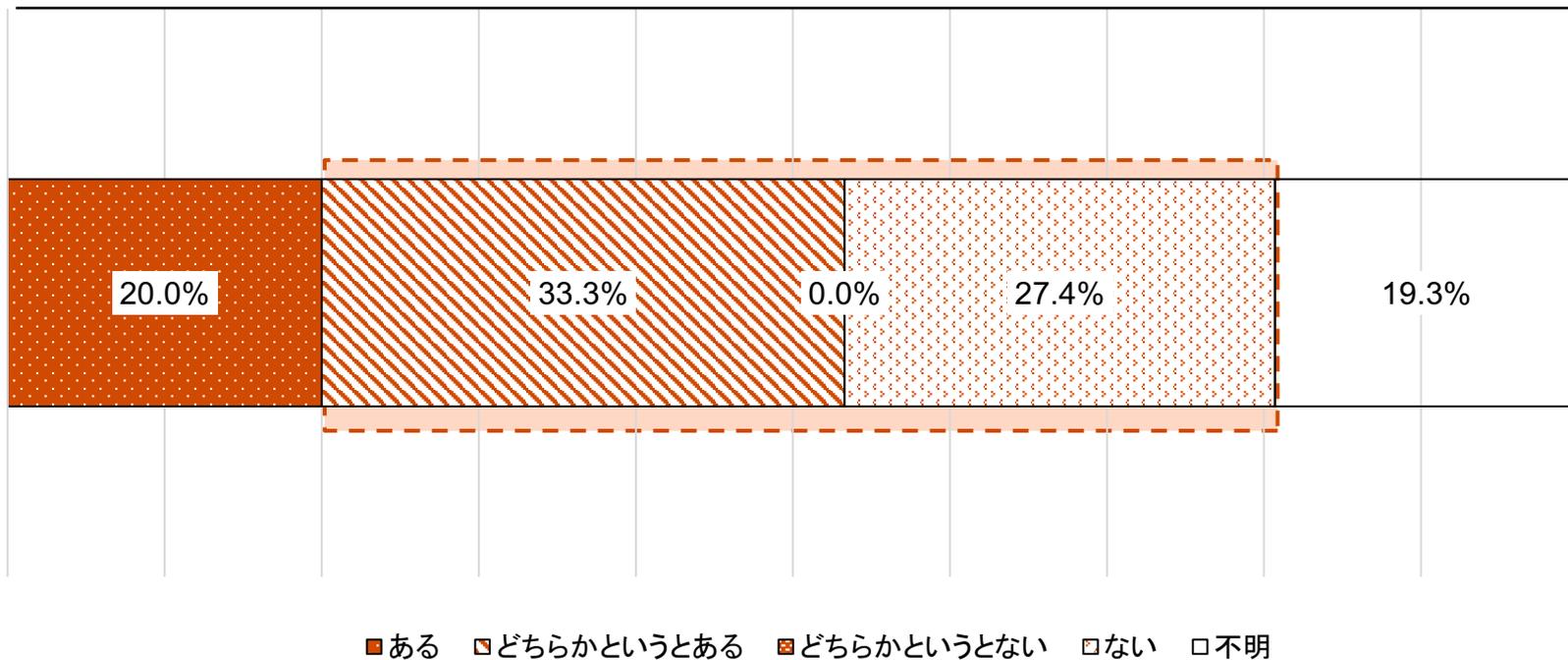
問14.災害時どんな不安がありますか。(n=135、複数回答)



11.【不安や悩み】不安や悩みの有無

- 在宅の生活における不安や悩みが、「どちらかというところ」が33.3%と最も多く、次いで「ない」が27.4%と多くなっています。

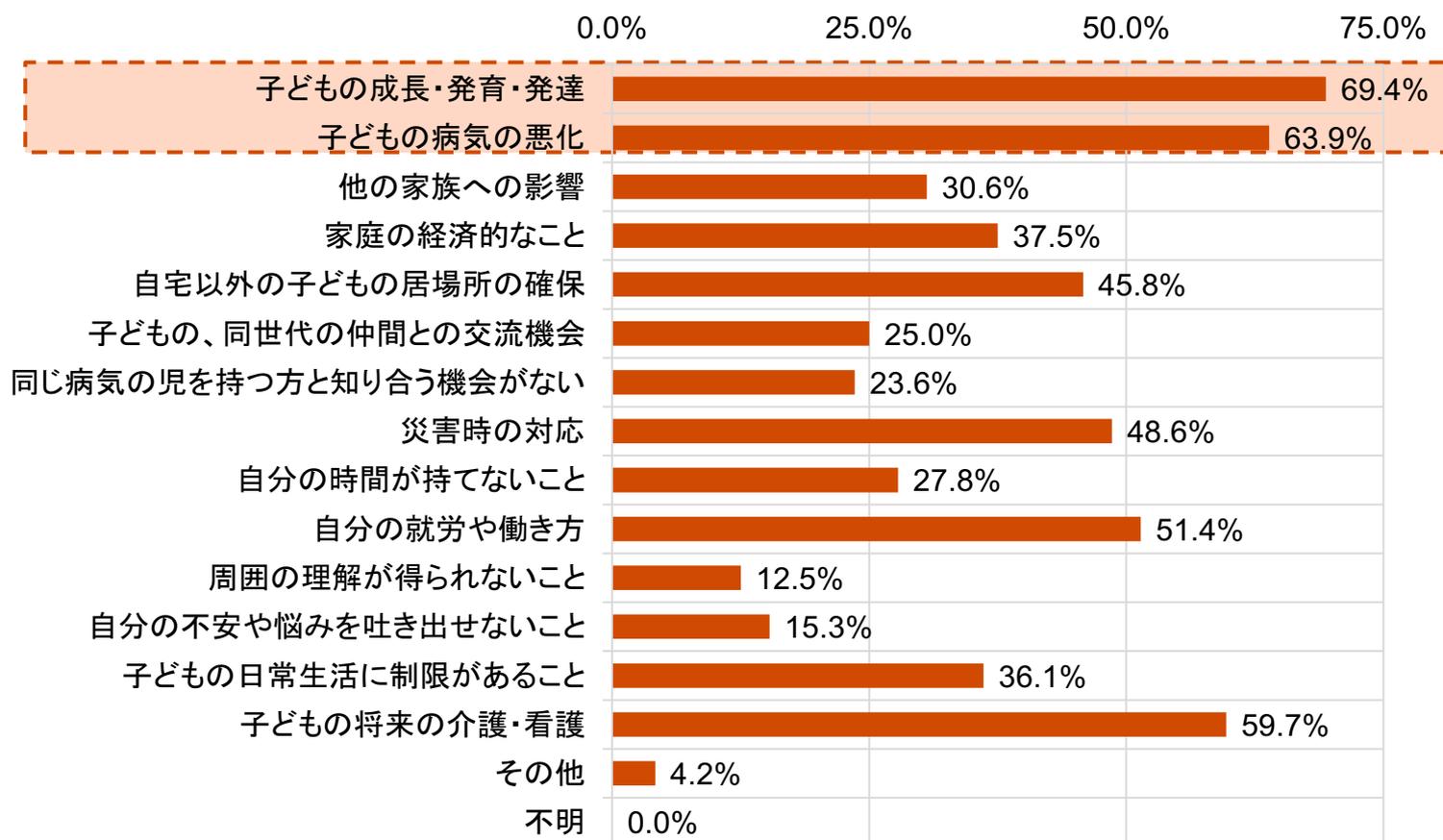
問10.あなたはお子さまの在宅での生活を支えることに不安や悩みを感じることはありますか。(n=135、単一回答)



12.【不安や悩み】不安や悩みの内容

- 不安や悩みとして、「子どもの成長・発育・発達」が69.4%と最も多く、次いで「子どもの病気の悪化」が63.9%と多くなっています。
- 昨年度と傾向に違いはありませんでした。

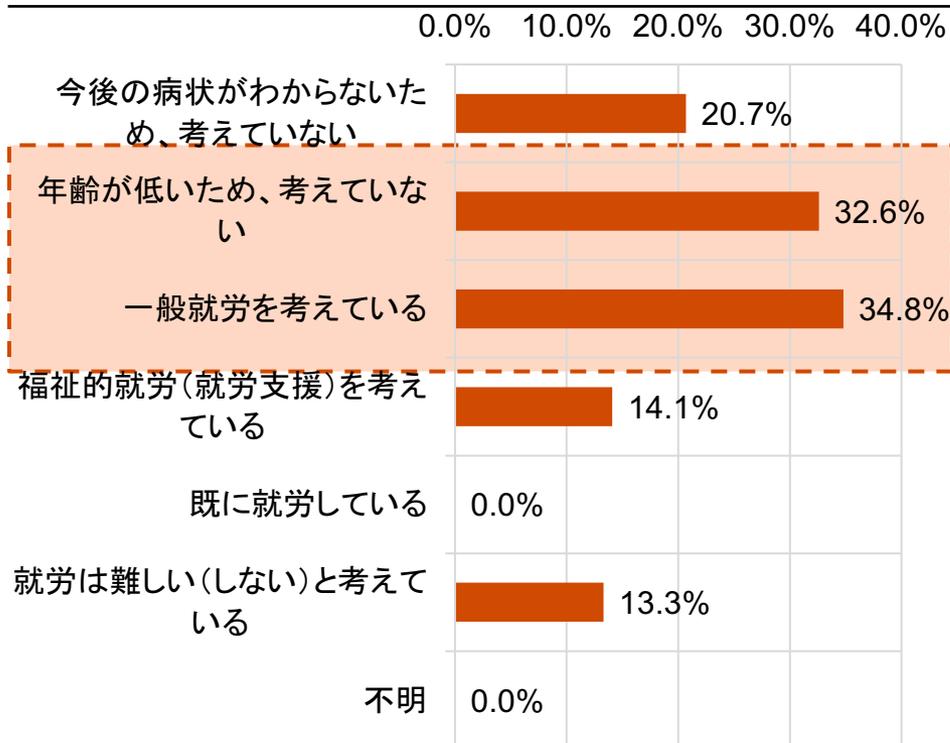
問11.あなたの不安や悩みについてあてはまることをお答えください。
(n=135、複数回答)



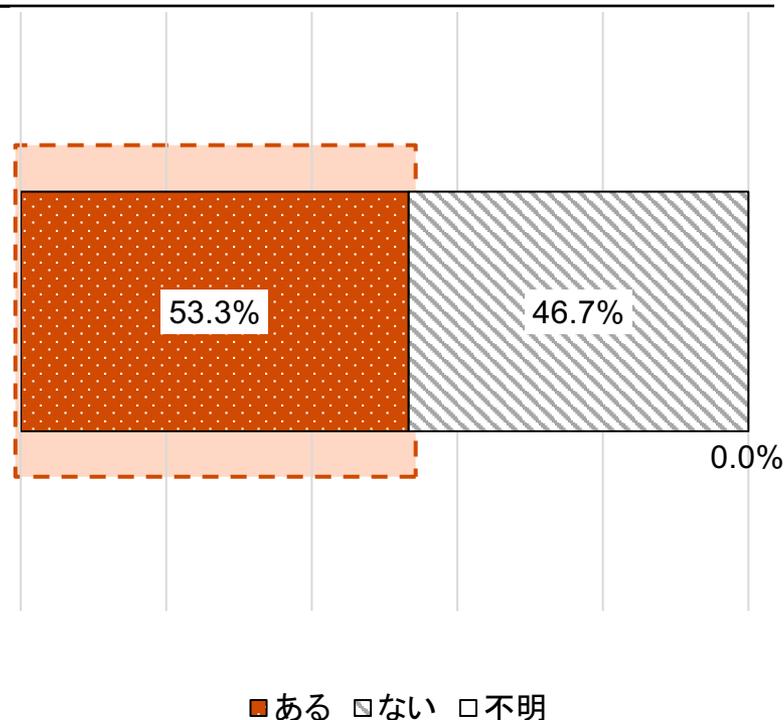
13.【不安や悩み】就労

- 就労について、「一般就労を考えている」が34.8%と最も多く、次いで「年齢が低いため、考えていない」が32.6%と多くなっています。
- 就労に関する不安や悩みは、「ある」が53.3%、「ない」が46.7%です。

問16.あなたは、お子さまの就労について、どのように考えますか。(n=135、複数回答)



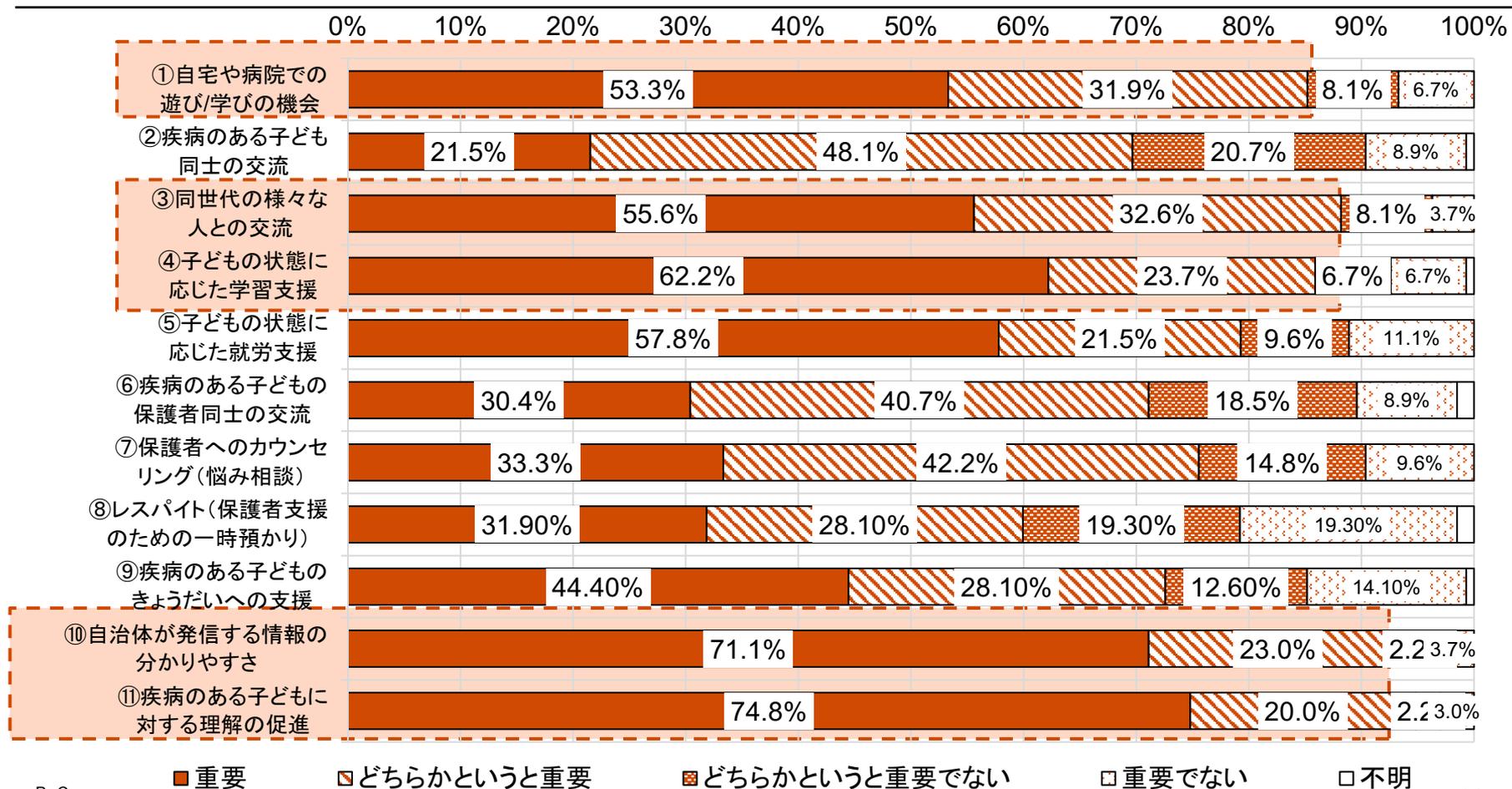
問17.お子さまの就労について、不安や悩みはありますか。(n=135、単一回答)



14.【不安や悩み】自立のために必要なこと

- 自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」が94.8%と最も多く、次いで「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が94.0%と多くなっています。
- 「同世代交流」「遊び学びの機会」「学習支援」についても、昨年度と同じ傾向がありました。

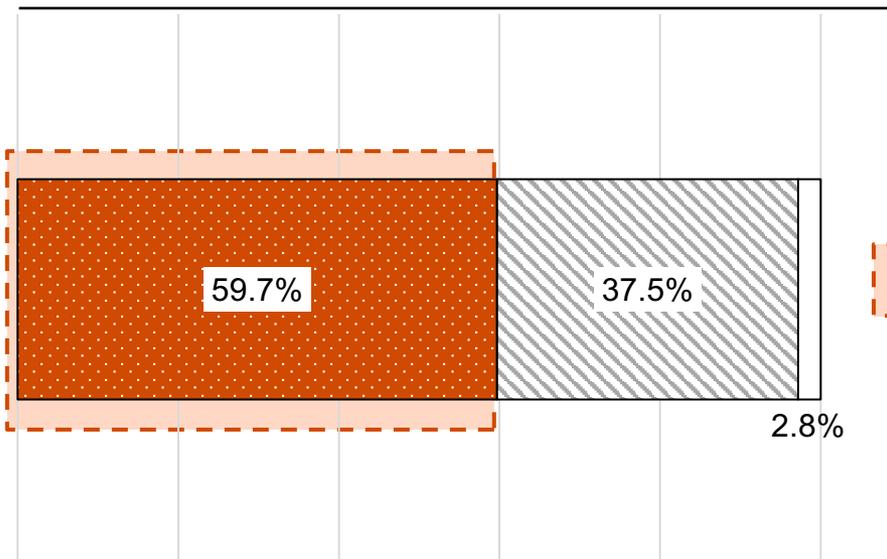
問32.お子さまの成長や自立のために【現時点】で必要なことについて、あなたにとっての重要度をお答えください。(n=135, 単一回答)



15.【相談】不安や悩みの相談先

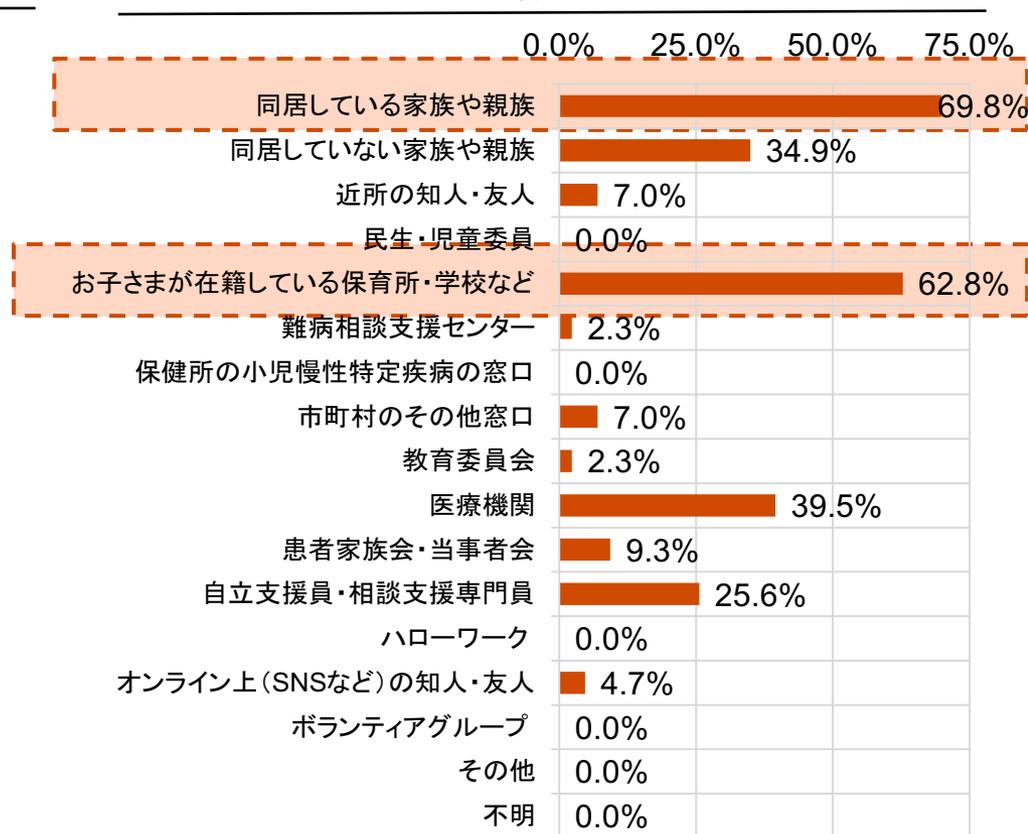
- 不安や悩みを「相談した/相談する予定」は59.7%と最も多く、「同居している家族や親族」「在籍している保育所・学校」が相談先として多くなっています。

問18.不安や悩みについて相談をしましたか。(n=72、単一回答)



■ 相談した(する予定) □ 相談しなかった(予定はない) □ 不明

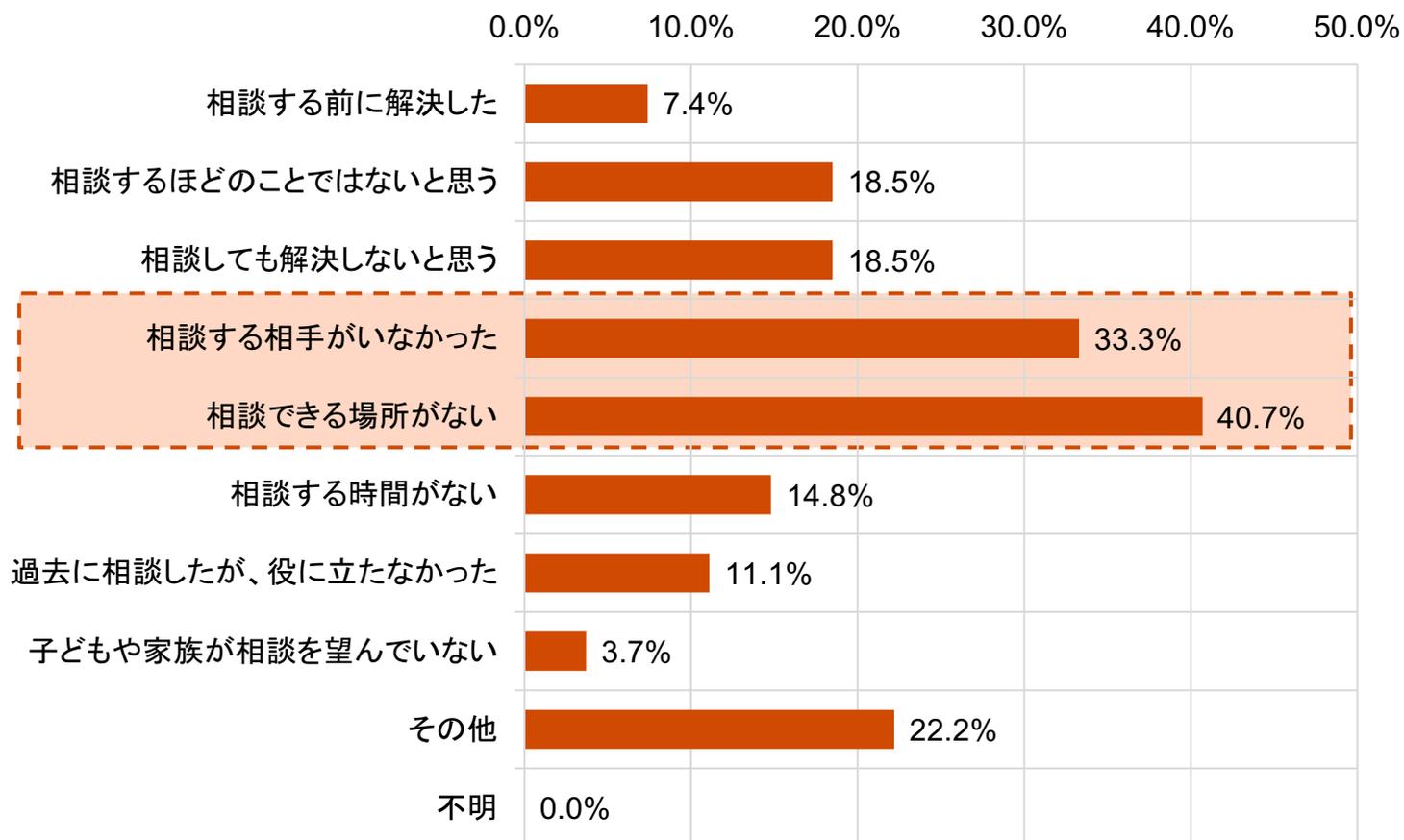
問19.誰に相談しましたか(相談する予定ですか。)(n=43、複数回答)



16. 【相談】相談しなかった理由

- 相談しなかった理由としては、「相談できる場所がない」が40.7%と最も多く、次いで「相談する相手がいなかった」が33.3%と多くなっています。

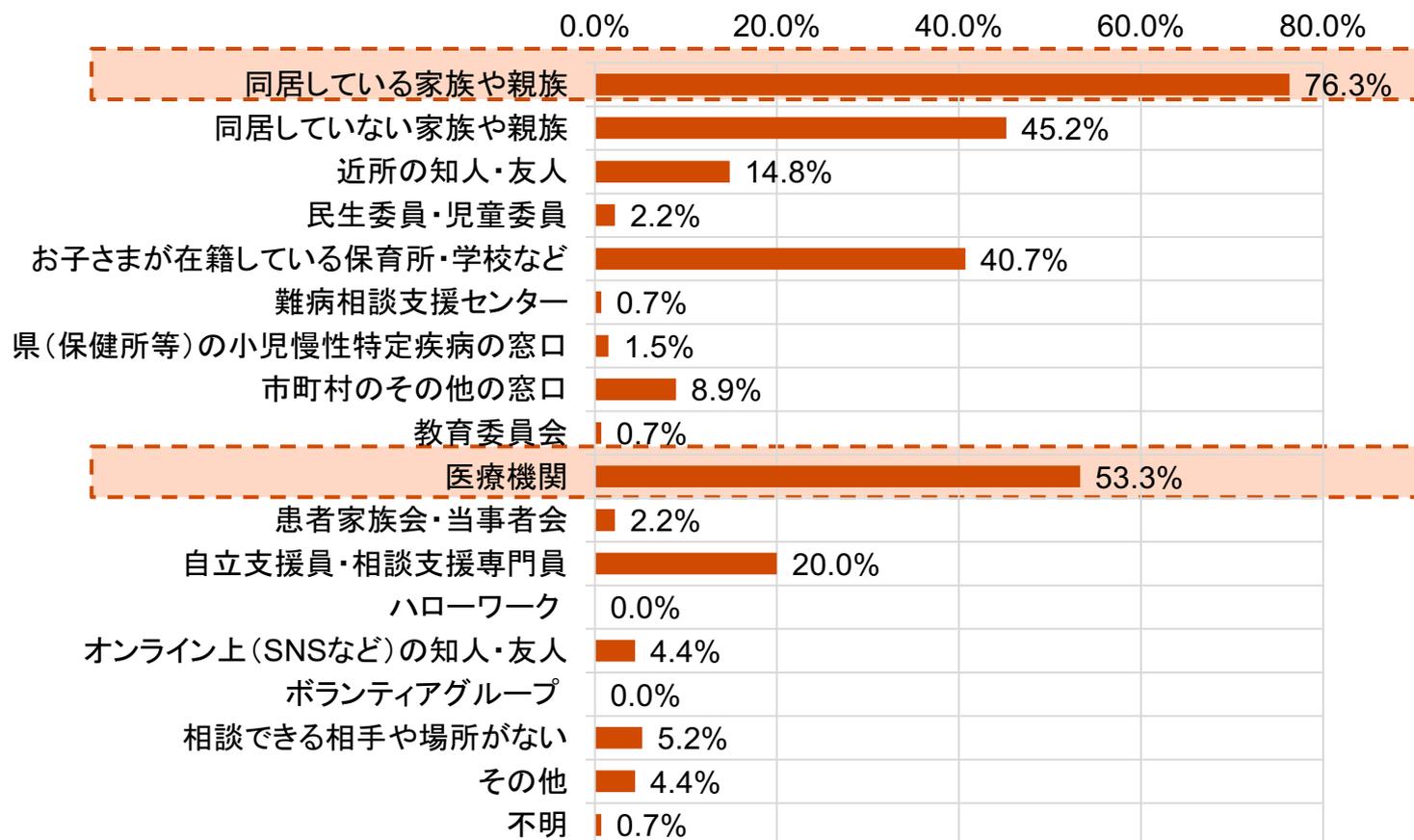
問20.相談しなかった理由としてあてはまるものをお答えください。
(n=27、複数回答)



17. 【相談】相談できる相手・場所

- 普段相談できる相手としては、「同居している家族や親族」が76.3%と最も多く、次いで「医療機関」が53.3%と多くなっています。
- 昨年度と同様の傾向でした。

問31.お子さまの家庭での生活や学校生活、福祉サービスの利用等について、あなたが相談できる相手や場所を教えてください。(n=135、複数回答)



18.【相談】相談窓口の認知

- 相談窓口の認知は昨年度から変化はありませんが、相談窓口の利用は昨年度より20.5ポイント増えました。
- 「認定NPO法人NEXTEP」の窓口の利用者であることには、昨年度と変化はありませんでした。

問33.現在熊本県内の保健所及び認定NPO法人NEXTEPに設置されている「お子さまの生活全般に関する専用の相談窓口」を知っていますか。(n=135、単一回答)



問34.相談窓口を利用したことがありますか。(n=31、単一回答)



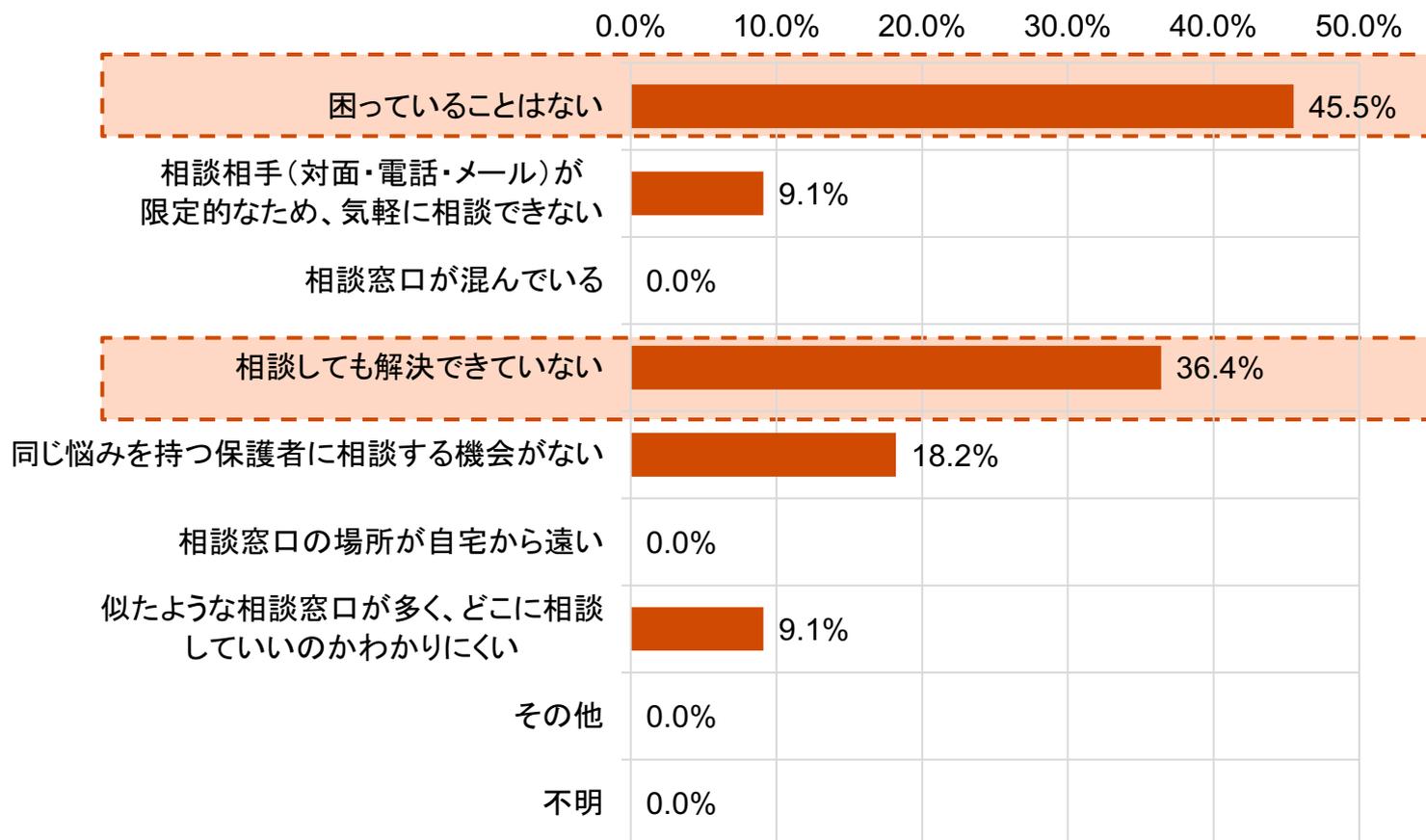
問35.どちらの窓口を利用しましたか。(n=11、単一回答)



19.【相談】相談体制で困っていること

- 相談体制について、「困っていることはない」が45.5%と最も多く、次いで「相談しても解決できていない」が36.4%と多くなっています。

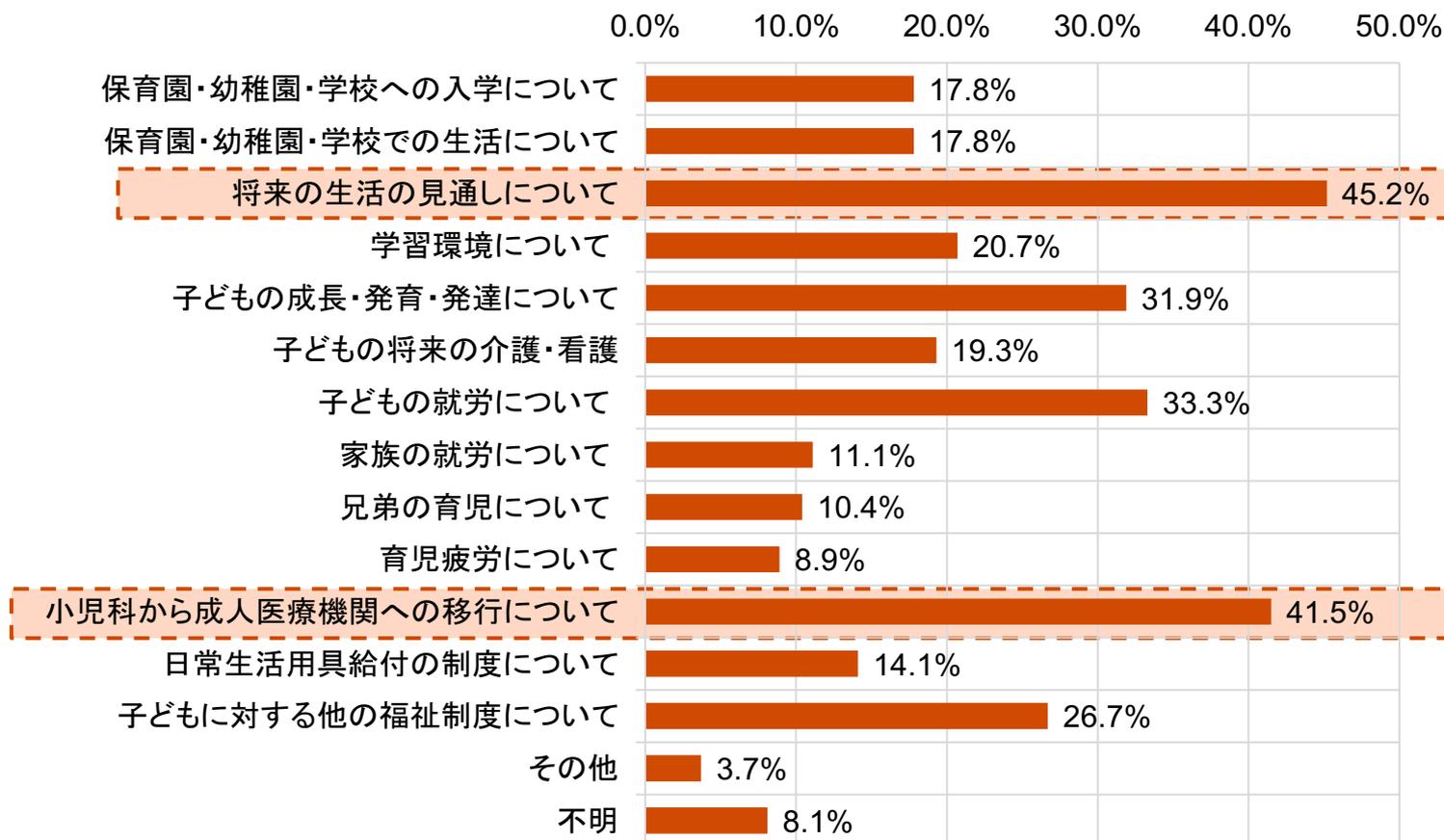
問36.現在の相談体制について困っていることはありますか。(n=135、複数回答)



20.【相談】相談したい内容

- 相談したい内容は、「将来の生活の見通し」が45.2%と最も多く、次いで「小児科から成人医療機関への移行」が41.5%と多くなっています。
- 昨年度の選択肢にはなかった「子どもの成長・発育・発達について」「子どもの就労について」の回答も高くなっています。

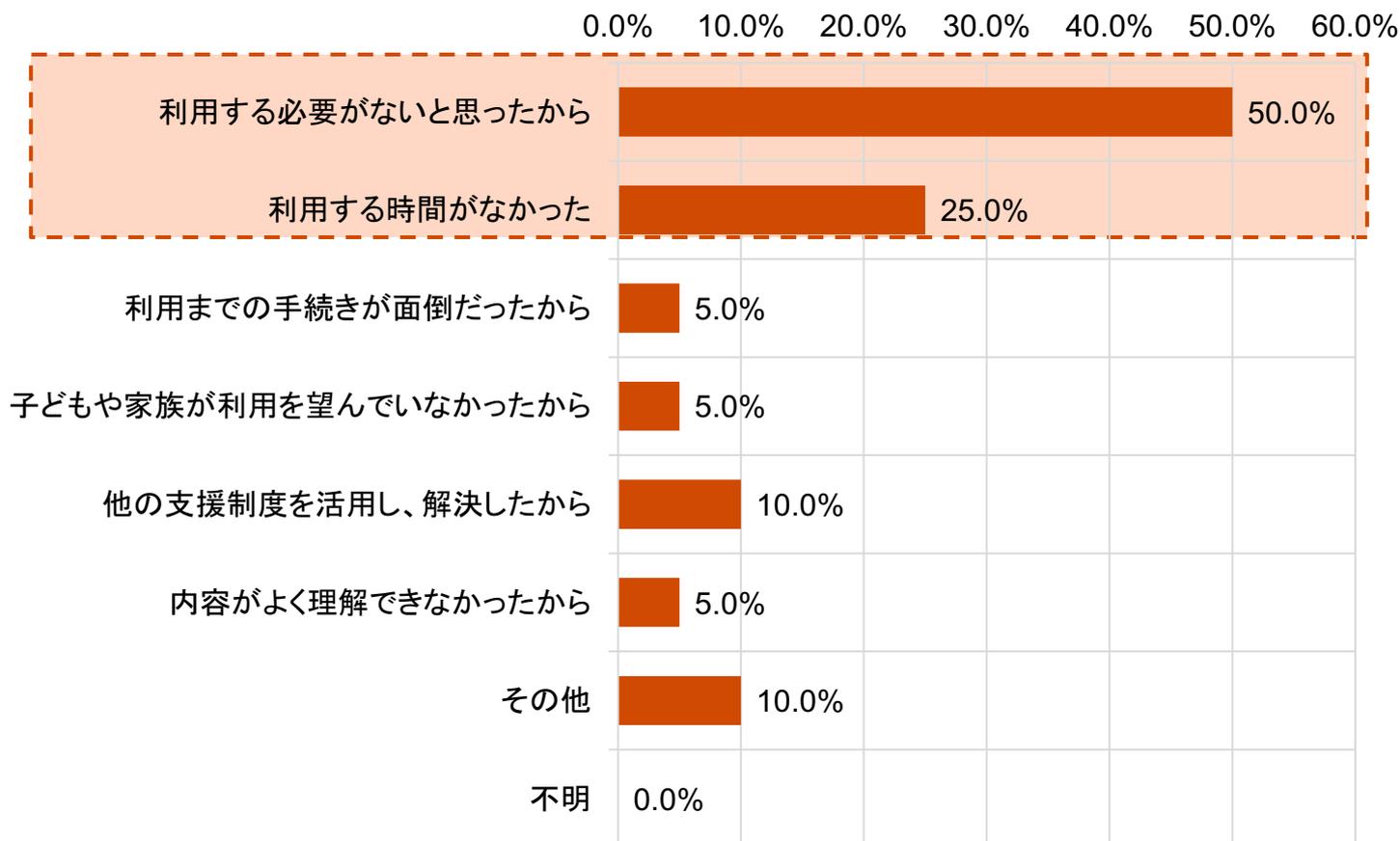
問37.「お子さまの生活全般に関する専用の相談窓口」でどのような内容を相談したいですか。
(n=135、複数回答)



21. 【相談】窓口を利用しない理由

- 相談窓口を利用しない理由は、「相談する必要がないと思ったから」が50.0%と最も多く、次いで「利用する時間がなかった」が25.0%と多くなっています。

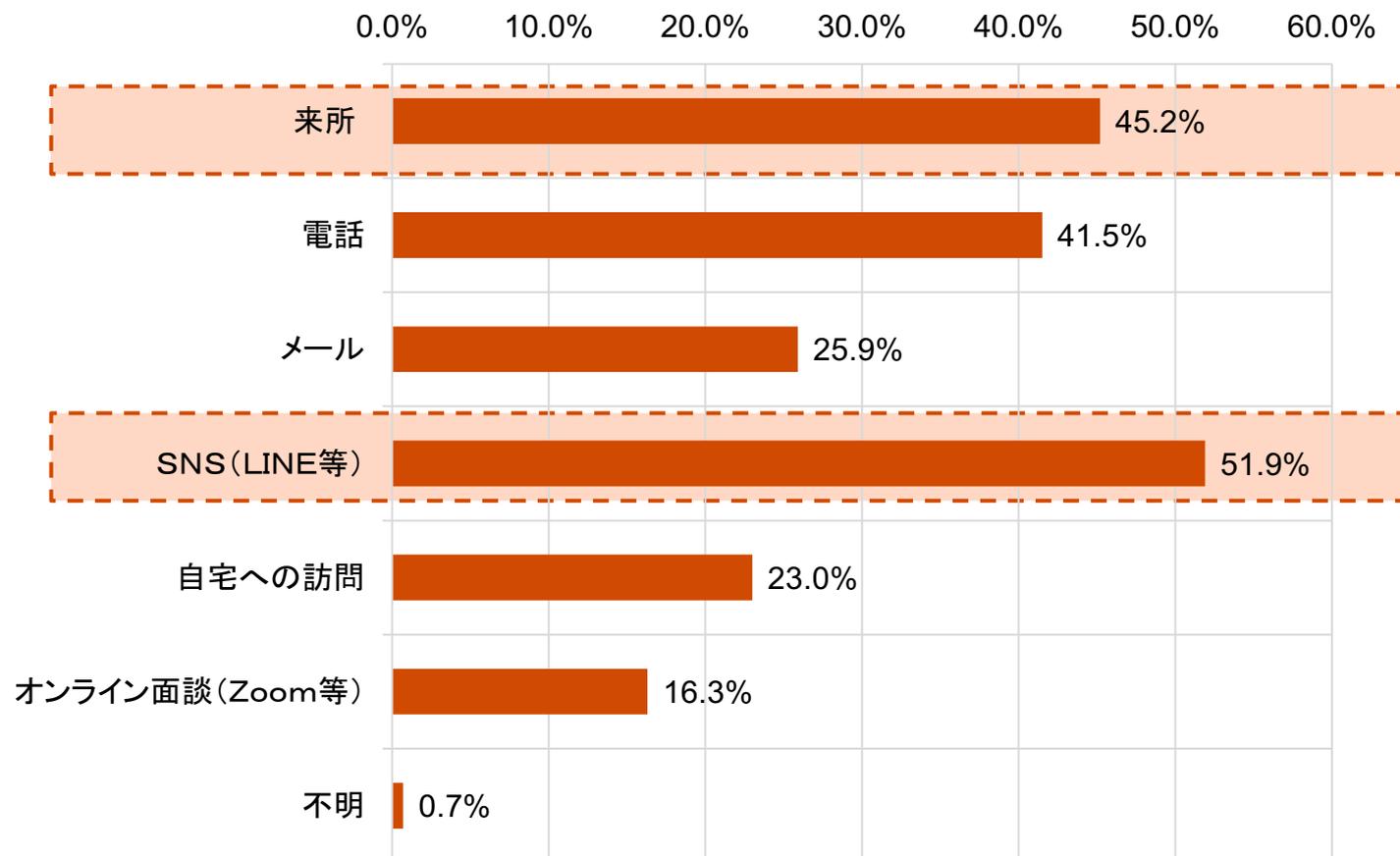
問38.利用しなかった理由としてあてはまるものをお答えください。(n=20、複数回答)



22.【相談】利用しやすい相談手法

- 利用しやすい相談手法として、「SNS」が51.9%と最も多く、次いで「来所」が45.2%と多くなっています。
- 昨年度と比較して大きな変化はありませんでした。

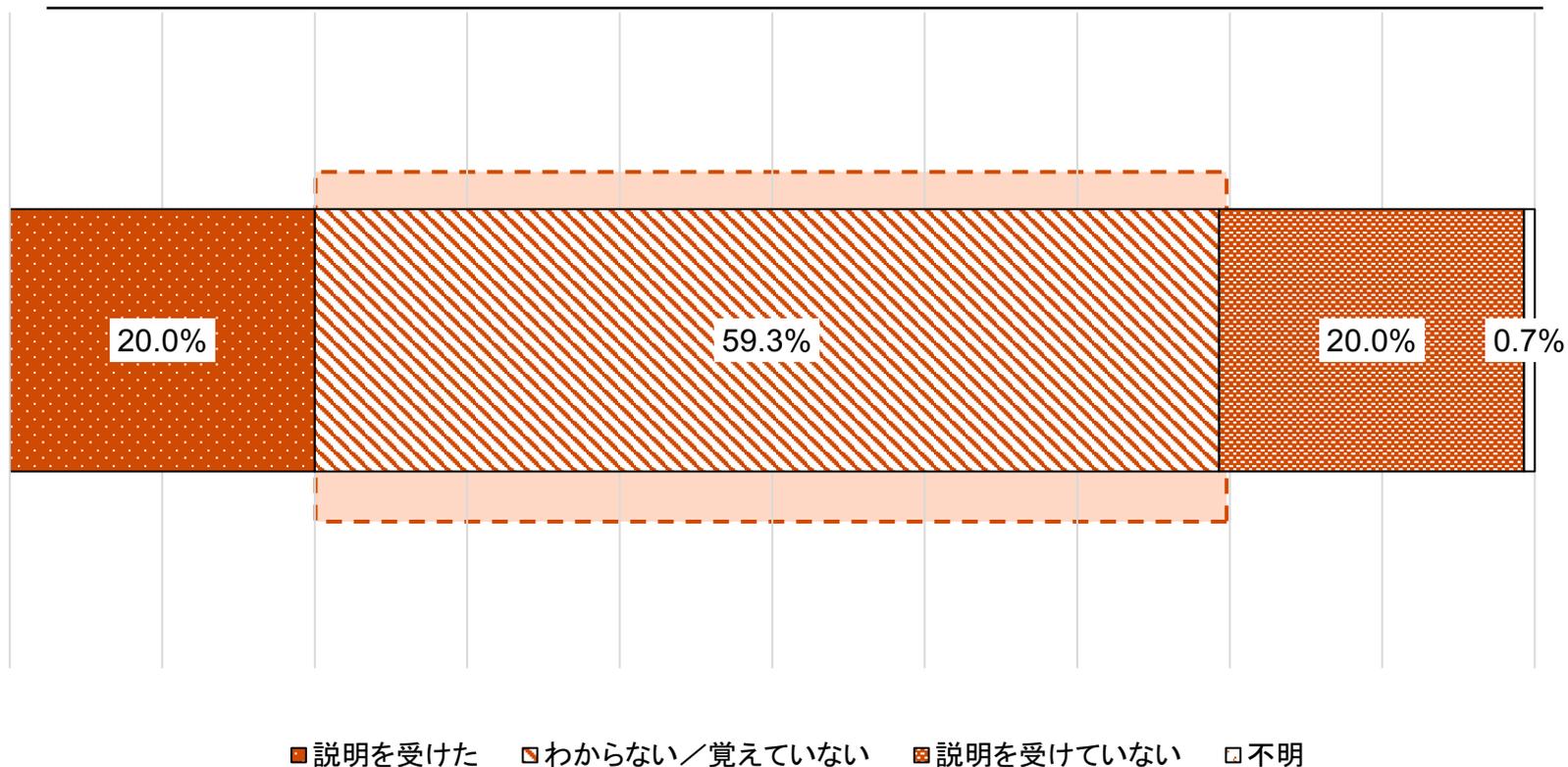
問39.どのような相談手法が相談しやすいですか。(n=135、複数回答)



23.【支援の活用】自立支援事業に関する説明の有無

- 自立支援事業の説明を受けたか、「わからない/覚えていない」が59.3%と最も多くなっています。

問27.あなたは、小児慢性特定疾病医療費助成を申請する際に、自治体から自立支援事業に関する説明を受けましたか。(n=135、単一回答)



24. 【支援の活用】支援の活用有無

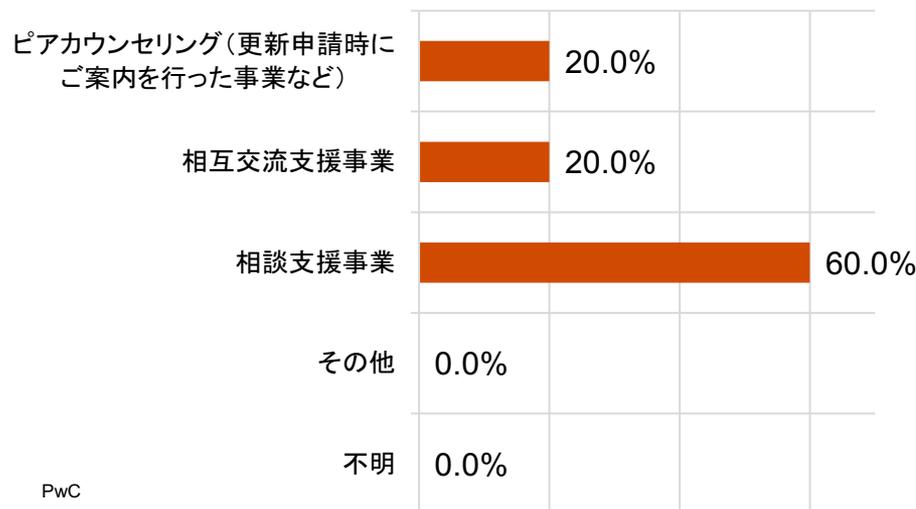
- 自立支援事業の説明を受けた人のうち、支援を「活用していない」が77.8%となっています。
- 活用しなかった理由は「必要ないから」が38.1%と最も多く、次いで「参加する時間がないから」が33.3%と多くなっています。

問28. 支援を活用されましたか。(n=27、単一回答)



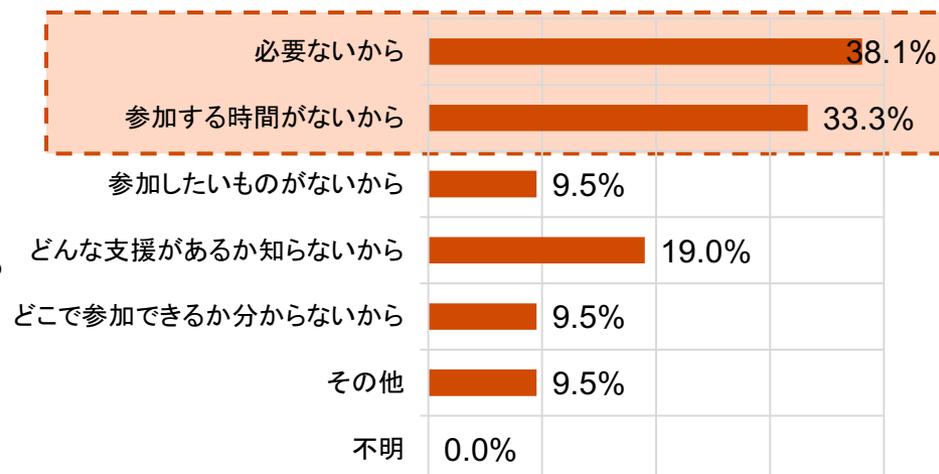
問29. どの事業に参加されましたか。(n=5、複数回答)

0.0% 20.0% 40.0% 60.0%



問30. 活用しなかった理由についてあてはまるものをお選びください。(n=21、複数回答)

0.0% 10.0% 20.0% 30.0% 40.0%



3

保護者向け調査のクロス集計結果まとめ

1. クロス集計項目

- 熊本県における保護者のニーズを明らかにするため、以下の意図のもとクロス集計を実施いたしました。

項目	クロス集計の軸	クロス実施の意図
自立に必要なこと	<ul style="list-style-type: none"> 問9 医療的ケアの有無×問32自立に必要なこと 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケアの有無による、努力義務事業の実施につなげられるような保護者のニーズを明らかにする
	<ul style="list-style-type: none"> 問21障害の有無×問32自立に必要なこと 	<ul style="list-style-type: none"> 障害の有無による、努力義務事業の実施につなげられるような保護者のニーズを明らかにする
	<ul style="list-style-type: none"> 問28自立支援事業の説明を受けたが支援を活用して「いない」×問32自立に必要なこと 	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援事業を知っているが、支援を活用していない人のニーズを明らかにする
就労に関する悩み	<ul style="list-style-type: none"> 問9 医療的ケア・問21障害の有無×問17就労における不安や悩みの有無 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケアありや障害ありと回答した方の不安有無、それ以外の方の不安有無を明らかにする
災害時の不安	<ul style="list-style-type: none"> 問9 医療的ケアの有無×問14災害時の不安内容 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケアの有無による、災害時の不安内容を明らかにし、支援内容のニーズを明らかにする
	<ul style="list-style-type: none"> 問21障害の有無×問14災害時の不安内容 	<ul style="list-style-type: none"> 障害の有無による、災害時の不安内容を明らかにし、支援内容のニーズを明らかにする
相談支援事業のニーズ	<ul style="list-style-type: none"> 問33相談窓口を「知らない」×問37相談したい内容 	<ul style="list-style-type: none"> 相談窓口を知らない人がどのような相談事を抱えているかを明らかにする
	<ul style="list-style-type: none"> 問33相談内容を「知っている」「知らない」×問9 医療的ケア・問21障害の有無 	<ul style="list-style-type: none"> 医療的ケアありや障害ありと回答した方の相談支援事業のニーズを把握する

2. クロス集計結果概要

- 熊本県で実施された保護者向け実態把握調査のクロス集計結果を整理しております。

単純集計の結果(全体の傾向)

自立に必要なこと

- 医療的ケアあり：自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」の回答は全体と変わらず多くなっていますが、次いで「保護者同士の交流」の回答が多くなっています。
- 医療的ケアなし：自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」の回答が多くなっています。
- 障害あり：自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が98.5%と最も多くなっています。
- 障害なし：自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が最も多くなっています。障害ありと比較すると、全体の回答率が減少していますが、「自宅や病院での遊び/学びの機会のニーズ」は障害ありと比較しても高くなっています。
- 自立支援事業の説明を受けたが支援を「活用していない」人が、自立に必要なこととして回答したものは、「疾病のある子どもに対する理解促進」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が90.5%と最も多く、全体と傾向は変わりませんでした。

就労

- 医療的ケアや障害がある方は、ない方と比較して、就労における不安や悩みがあると答えた方が多くなっています。

災害時の不安

- 医療的ケア有無：災害時の不安として、医療的ケアの有無に限らず、「治療の継続」や「避難所の環境」は回答が多くなっています。最も差があった回答は「医療機器の使用」となっています。
- 障害有無：災害時の不安として、障害の有無に限らず、「治療の継続」や「避難所の環境」は回答が多くなっています。最も差があった回答は「医療機器の使用」となっています。

二相談のニーズ

- 全体の傾向と変わらず、相談窓口を知らない人が相談したい内容は、「将来の生活の見通し」が43.7%と最も多く、次いで「小児科から成人医療機関への移行」が42.7%と多くなっています。
- 医療的ケアや障害がある方のほうが、医療的ケアや障害がない方より、「お子さまの生活全般に関する専用の相談窓口を知っている」と回答している人が13ポイント多くなっています。

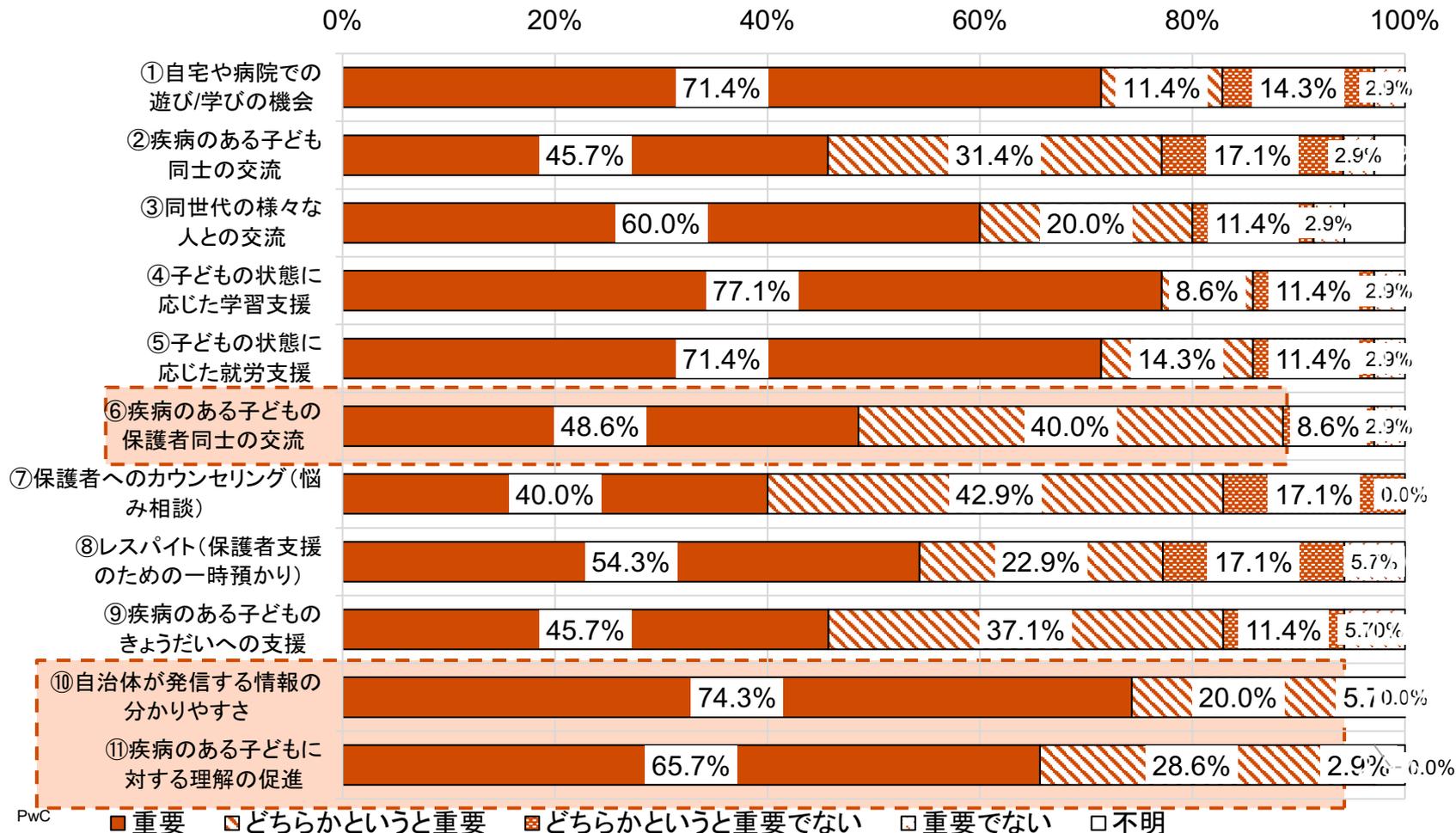
4

保護者向け調査のクロス集計結果資料

1 - 1 . 問 9 医療的ケアの有無×問32自立に必要なこと(医療的ケアあり)

- 自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」の回答は全体と変わらず多くなっていますが、次いで「保護者同士の交流」の回答が多くなっています。

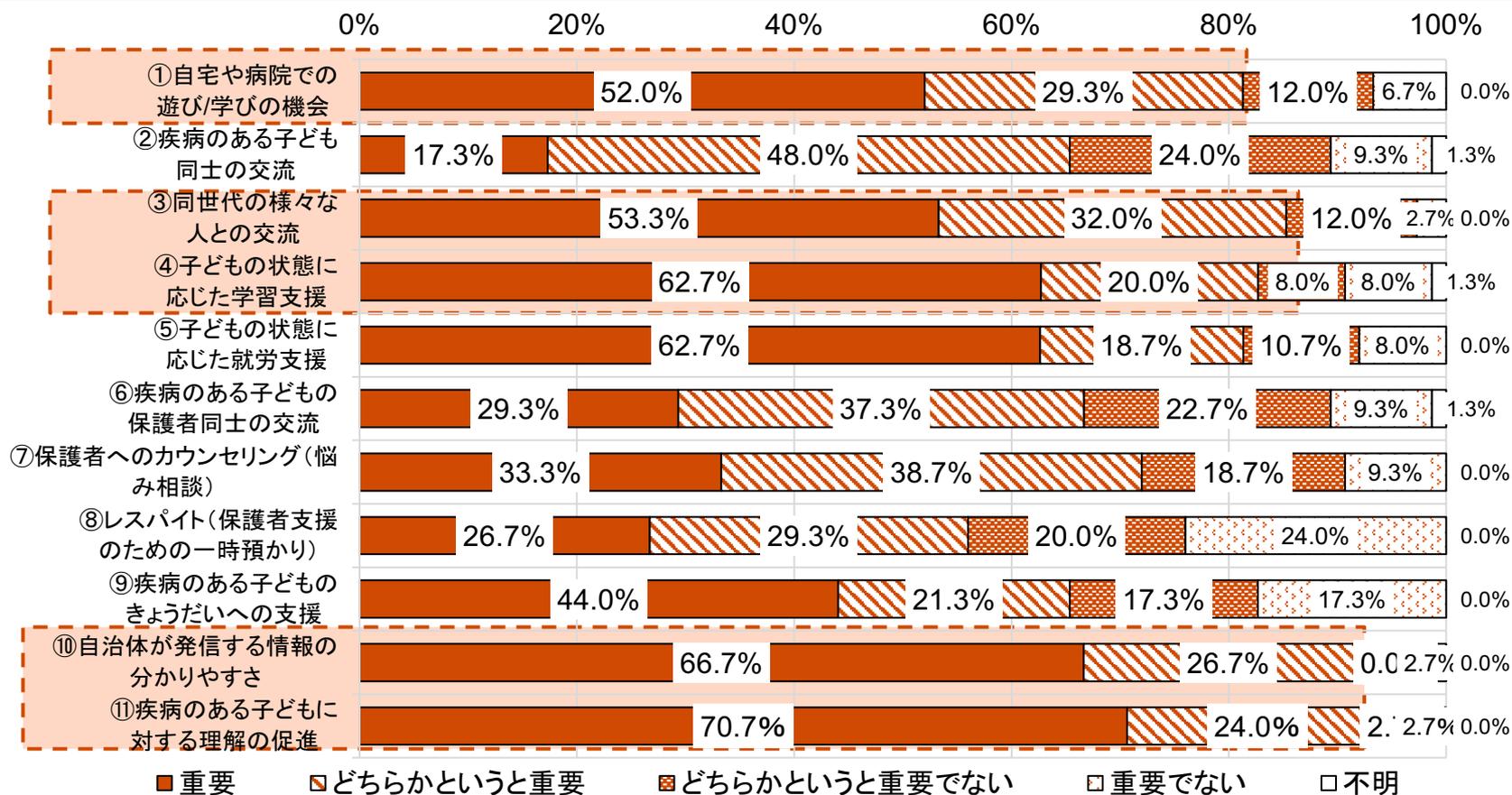
問35.お子さまの成長や自立のために現時点で必要なことについて、あなたにとっての重要度をお答えください。【医療的ケアあり】(n=35、単一回答)



1 - 2 . 問 9 医療的ケアの有無×問32自立に必要なこと(医療的ケアなし)

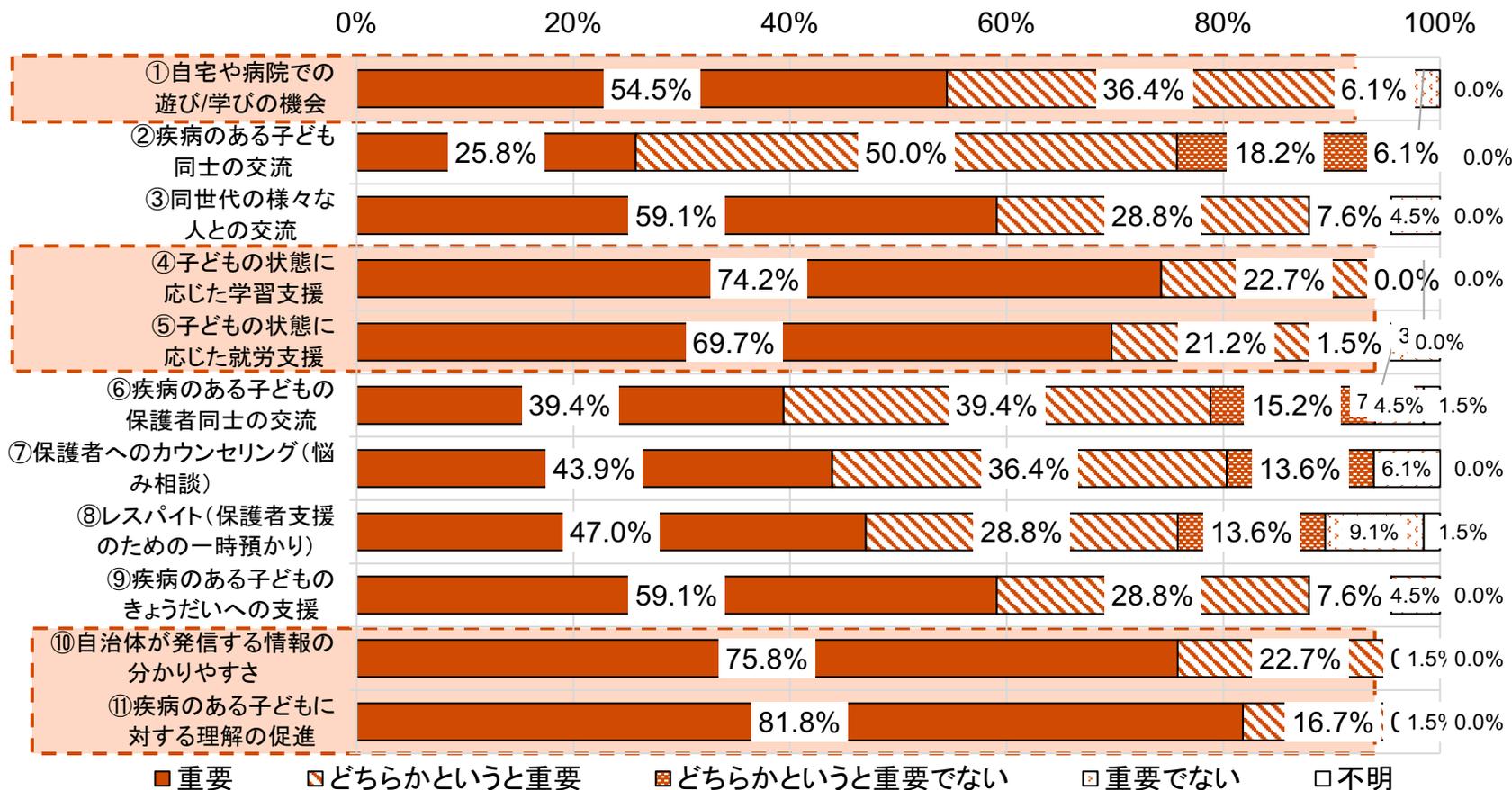
- 自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」の回答が多くなっています。
- 全体の傾向と大きな違いはなく、「遊び/学びの支援」「同世代交流」「学習支援」が多くなっています。

問32.お子さまの成長や自立のために【現時点】で必要なことについて、あなたにとっての重要度をお答えください。【医療的ケアなし】(n=75、単一回答)



2-1. 問21障害の有無×問32自立に必要なこと(障害あり)

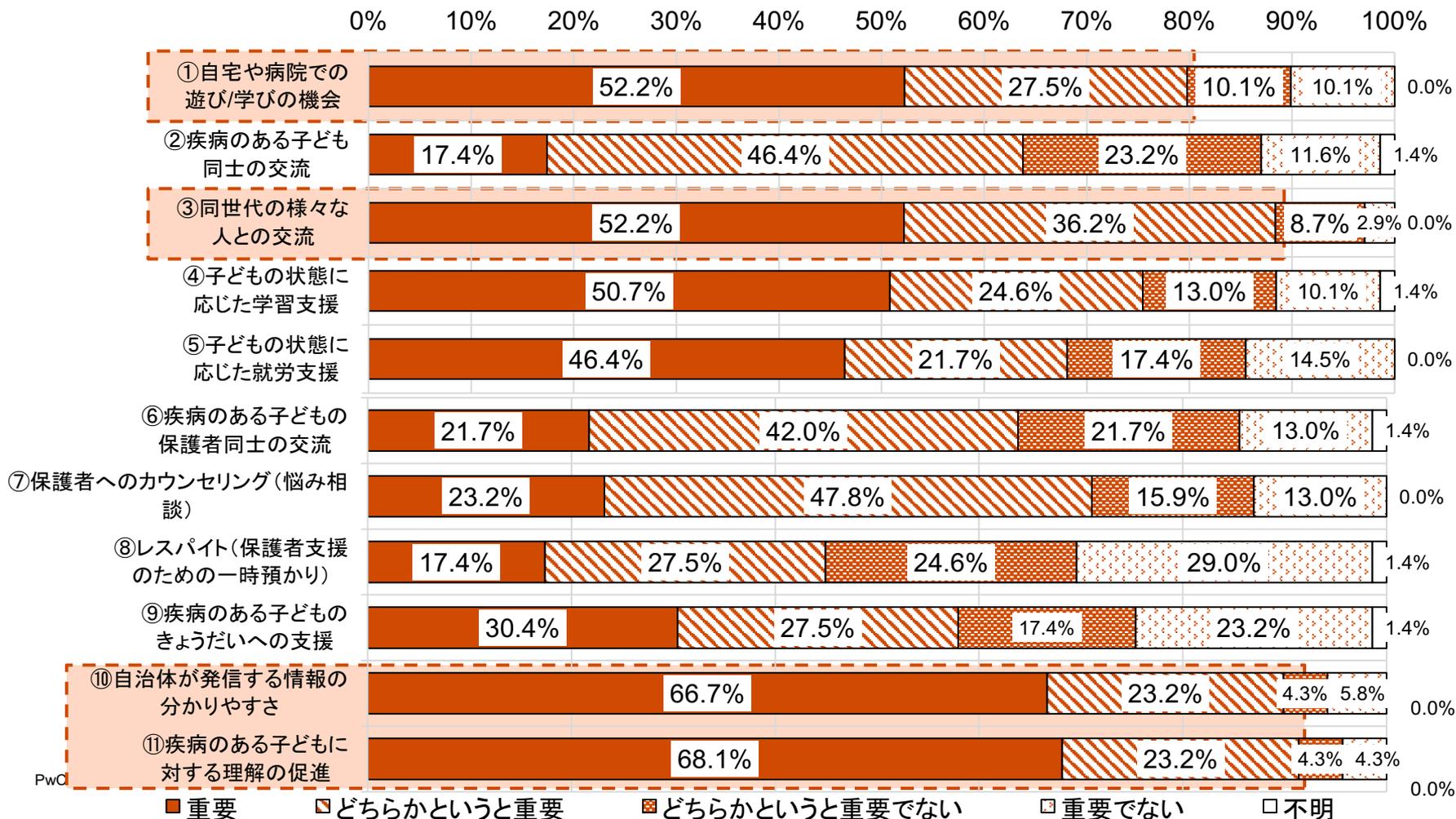
- 自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が98.5%と最も多くなっています。
 - 他に「遊び/学びの支援」「学習支援」「就労支援」が多くなっています。
- 問32.お子さまの成長や自立のために【現時点】で必要なことについて、あなたにとっての重要度をお答えください。【障害あり】(n=66、単一回答)



2-2. 問21障害の有無×問32自立に必要なこと(障害なし)

- 自立のために必要なこととして、「疾病のある子どもに対する理解促進」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が最も多くなっています。
- 障害ありと比較すると、全体の回答率が減少していますが、「遊び/学びの支援」「同世代交流」は障害ありと比較しても高くなっています。

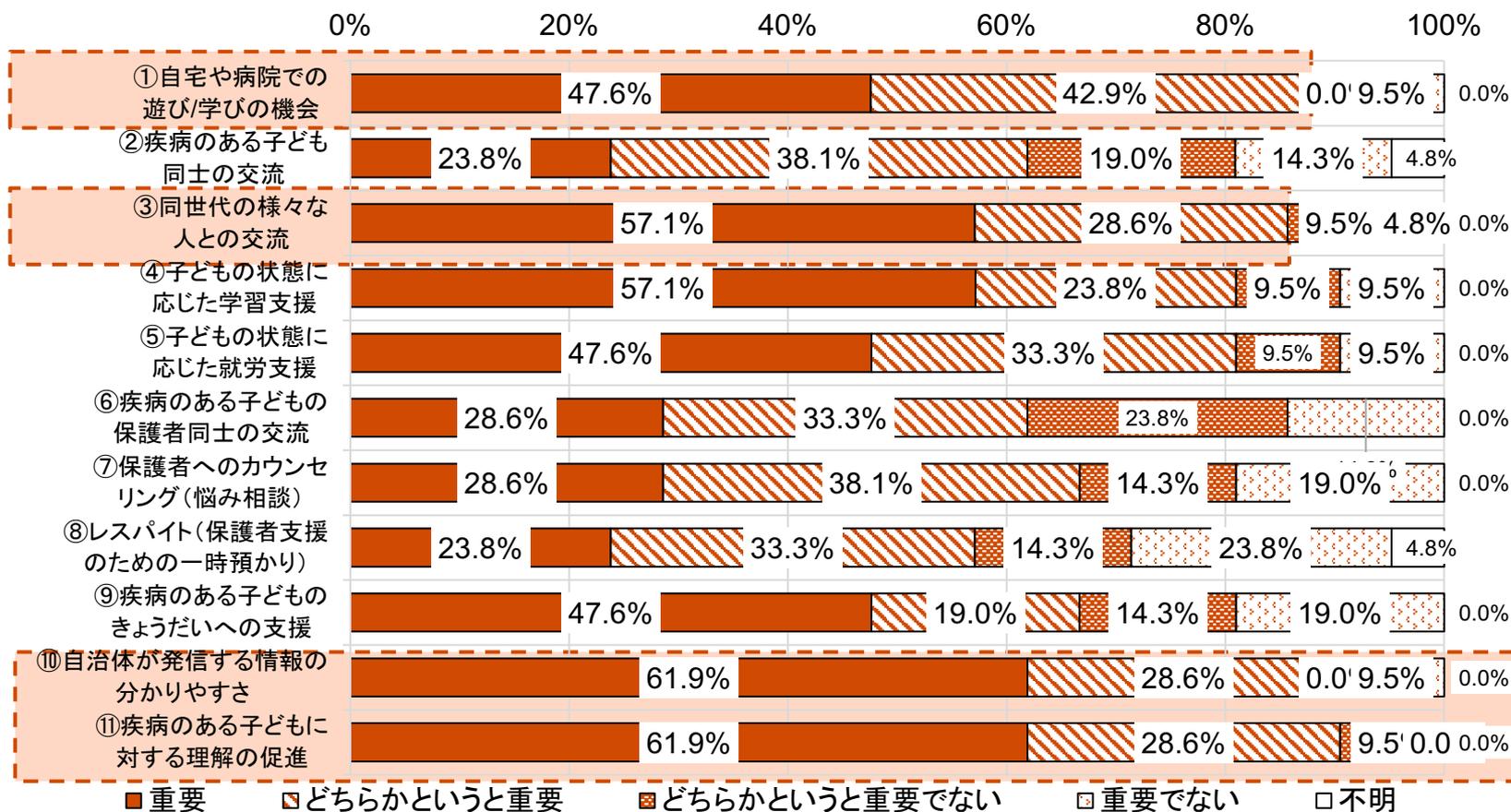
問32.お子さまの成長や自立のために【現時点】で必要なことについて、あなたにとっての重要度をお答えください。【障害なし】(n=69、単一回答)



3. 問28支援を活用して「いない」×問32自立に必要なこと

- 自立支援事業の説明を受けたが支援を「活用していない」人が、自立に必要なこととして回答したものは、「疾病のある子どもに対する理解促進」「自治体が発信する情報のわかりやすさ」が90.5%と最も多く、全体と傾向は変わりませんでした。

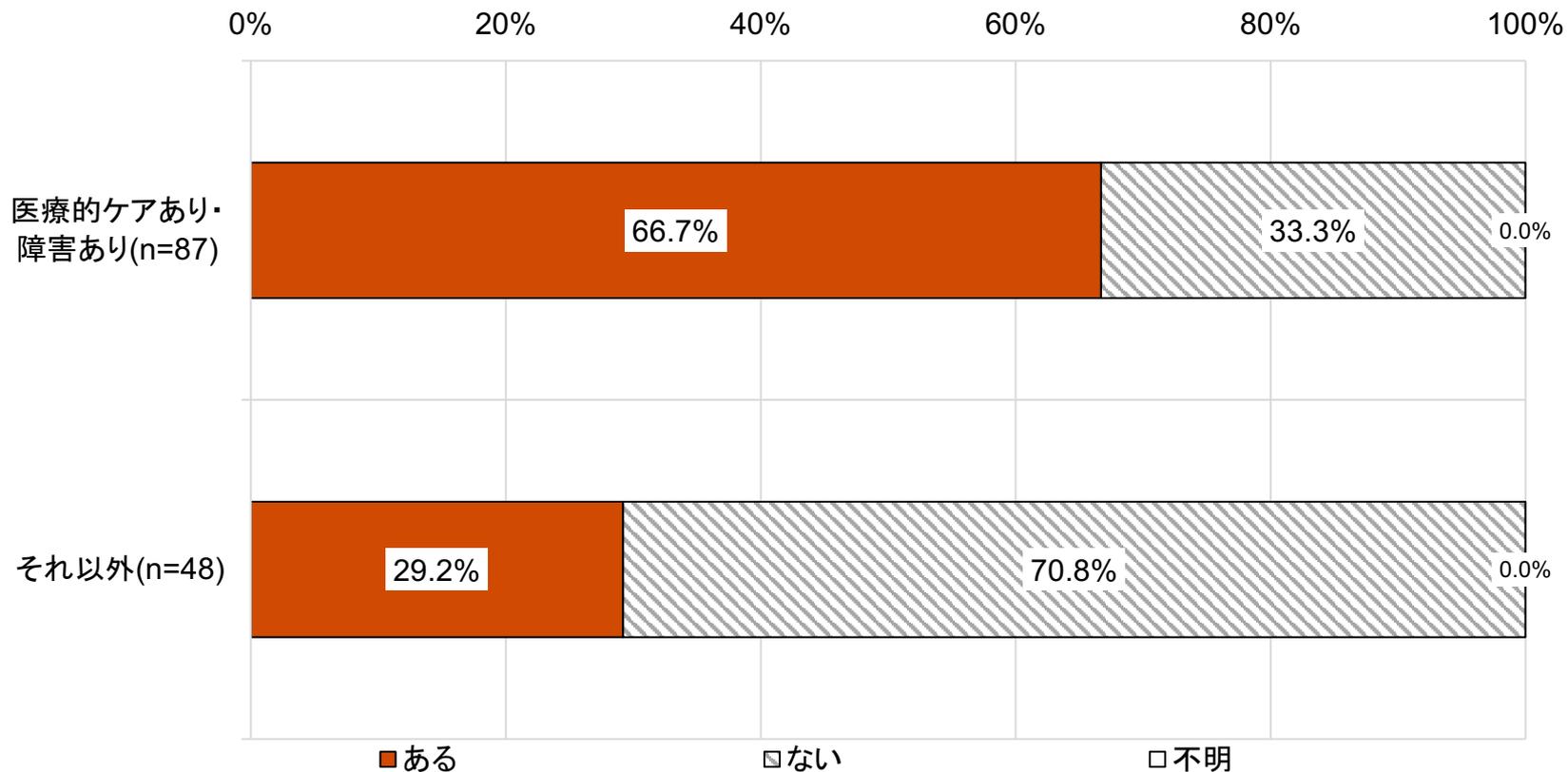
問32.お子さまの成長や自立のために【現時点】で必要なことについて、あなたにとっての重要度をお答えください。【支援を活用していない保護者】(n=21、単一回答)



4. 問9 医療的ケア・問21障害の有無×問17就労の不安や悩みの有無

- 医療的ケアや障害がある方は、ない方と比較して、就労における不安や悩みがあると答えた方が多くなっています。

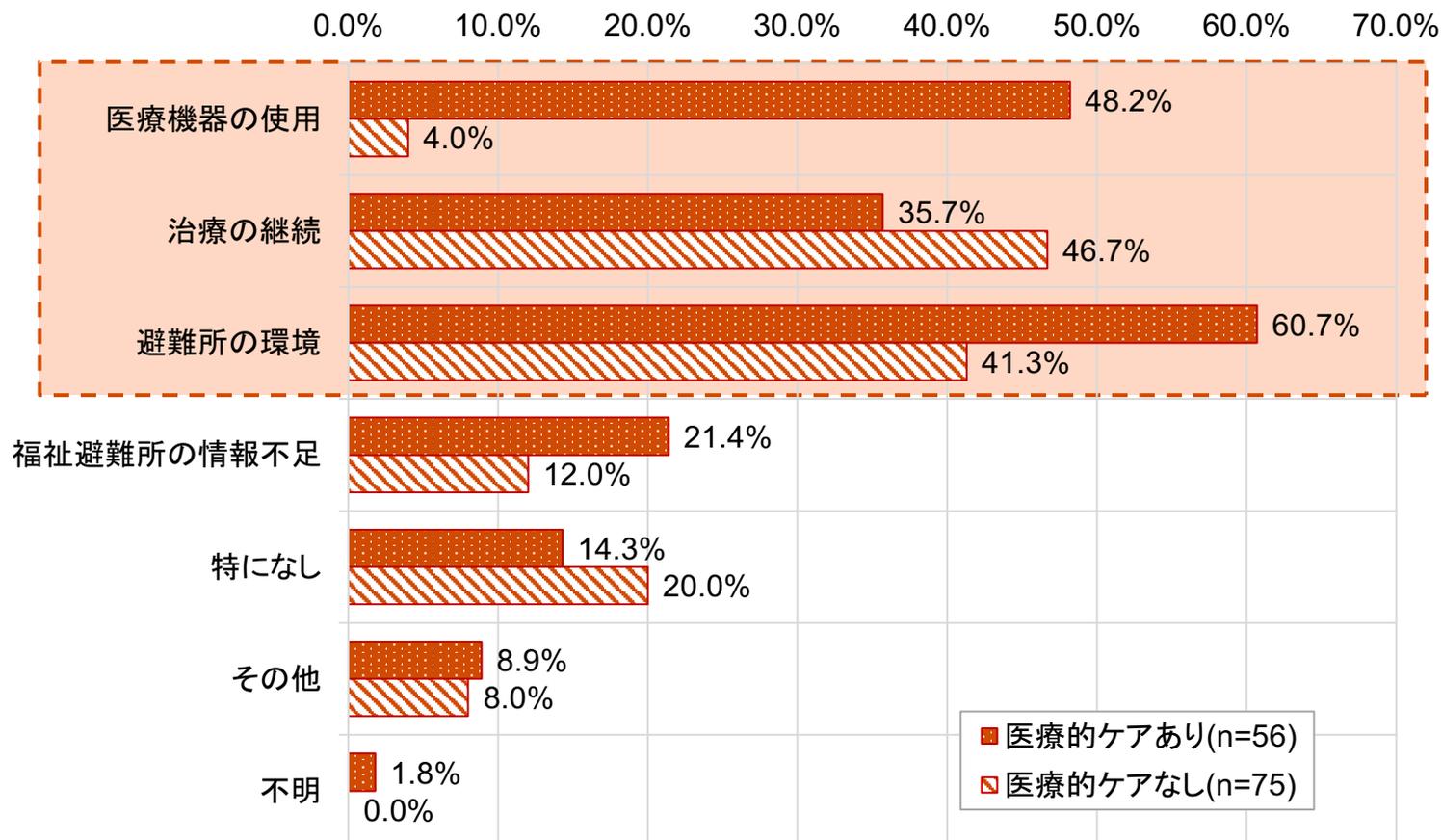
問17.お子さまの就労について、不安や悩みはありますか。(n=135、単一回答)



5. 問9 医療的ケアの有無×問14災害時の不安内容

- 災害時の不安として、医療的ケアの有無に限らず、「治療の継続」や「避難所の環境」は回答が多くなっています。
- 最も差があった回答は「医療機器の使用」となっています。

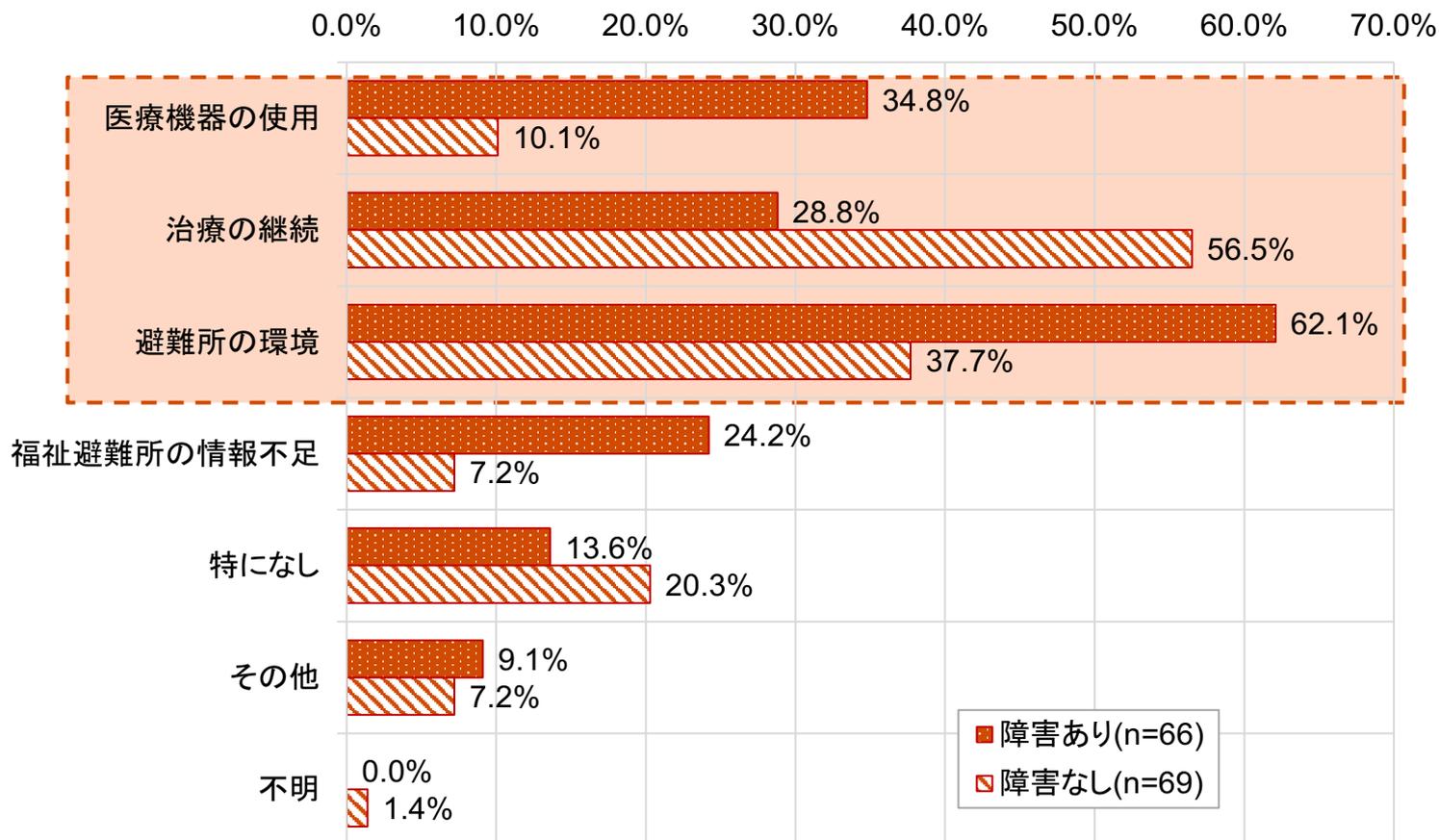
問14.災害時どんな不安がありますか。(n=131、複数回答)



6. 問21障害の有無×問14災害時の不安内容

- 災害時の不安として、障害の有無に限らず、「治療の継続」や「避難所の環境」は回答が多くなっています。
- 最も差があった回答は「医療機器の使用」となっています。

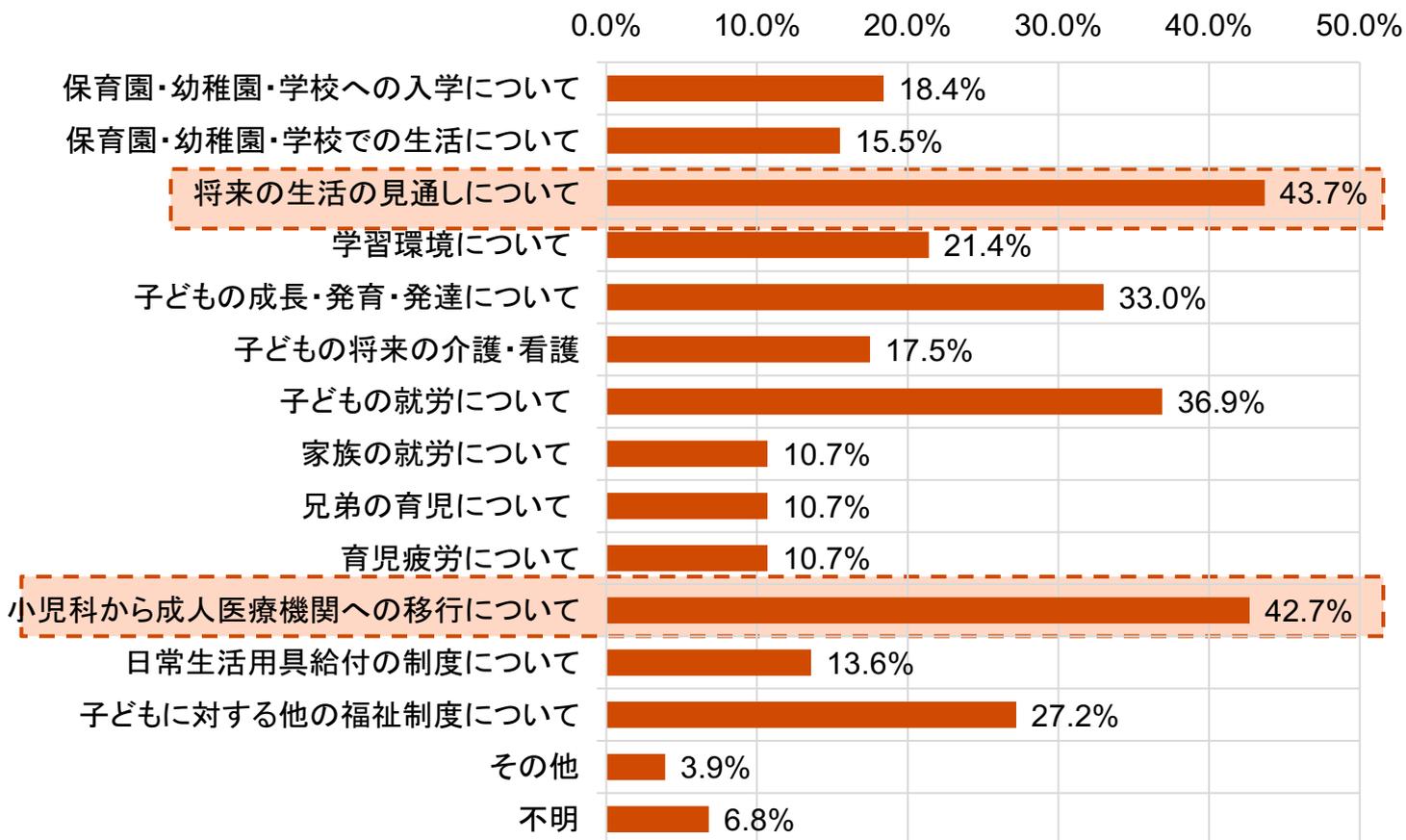
問14.災害時どんな不安がありますか。(n=135、複数回答)



7. 問33相談窓口を「知らない」×問37相談したい内容

- 全体の傾向と変わらず、相談したい内容は、「将来の生活の見通し」が43.7%と最も多く、次いで「小児科から成人医療機関への移行」が42.7%と多くなっています。

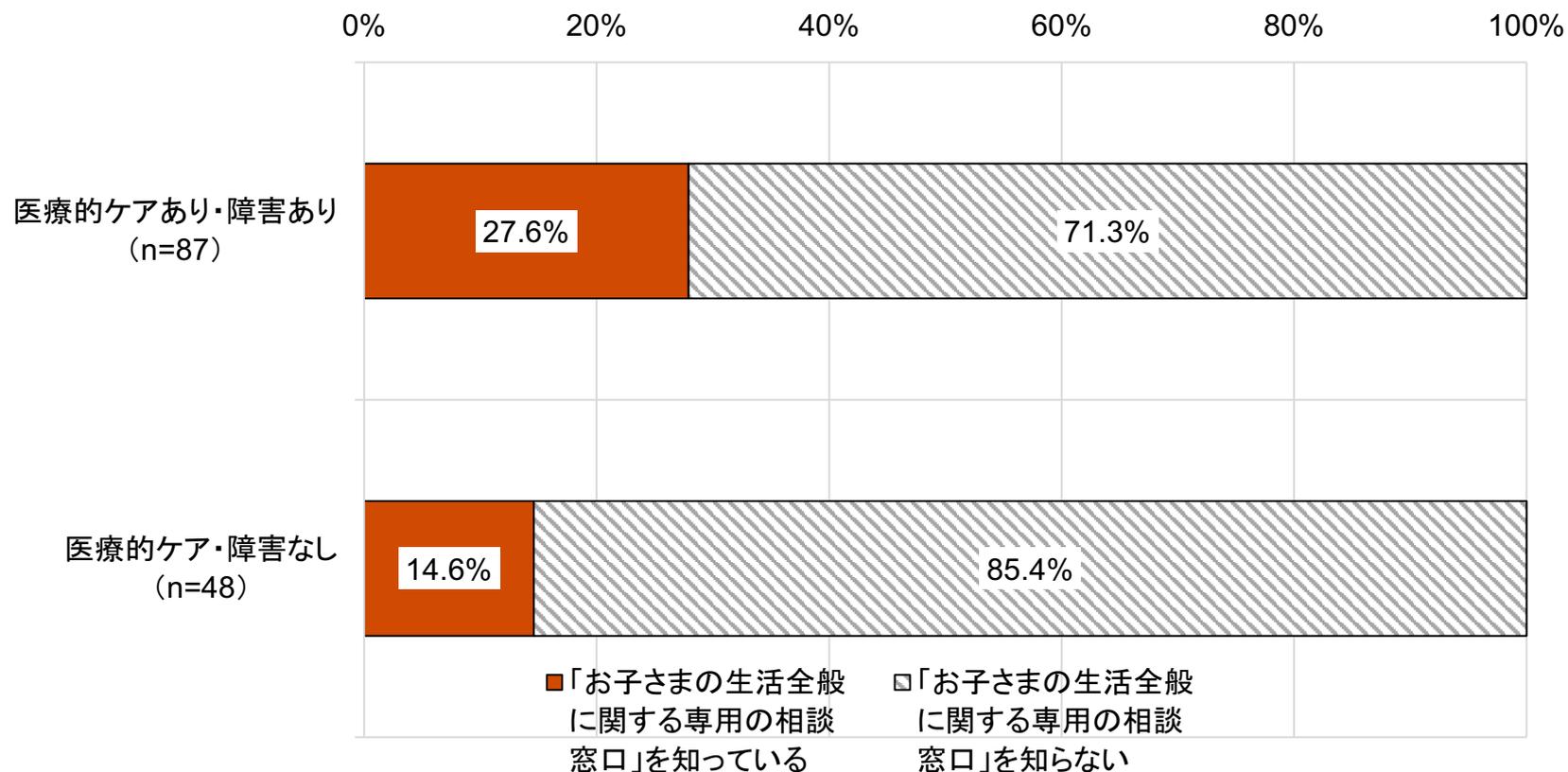
問37.「お子さまの生活全般に関する専用の相談窓口」でどのような内容を相談したいですか。
【「お子さまの生活全般に関する専用の相談窓口」を知らない回答者】(n=103、複数回答)



8. 問33相談窓口の認知×問9 医療的ケア・問21障害の有無

- 医療的ケアや障害がある方のほうが、医療的ケアや障害がない方より、「お子さまの生活全般に関する専用の相談窓口を知っている」と回答している人が13ポイント多くなっています。

現在熊本県内の保健所及び認定NPO法人NEXTEPに設置されている「お子さまの生活全般に関する専用の相談窓口」を知っていますか。(n=135、単一回答)



5

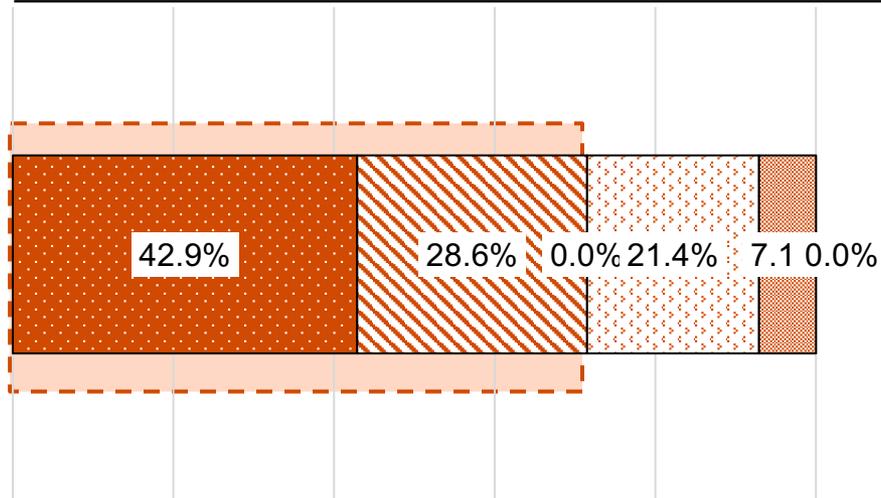
子ども向け調査の単純集計結果 資料

1. ふだんの生活や学校での生活で思いどおりにできなかったこと

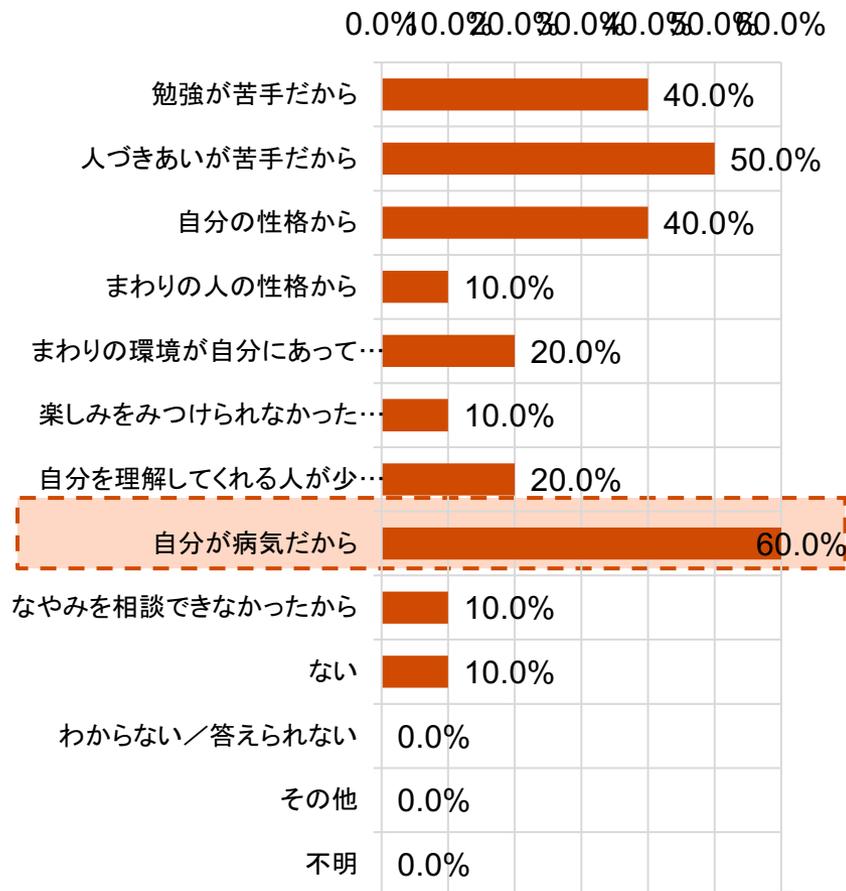
- ふだんの生活や学校での生活について、思いどおりにできないことが「あった」「どちらかといえばあった」は全体の71.5%となっています。
- その理由としては「自分が病気だから」が最も多くなっています。

問4. いままで、ふだんの生活や学校での生活を、あなたの思いどおりにできなかったことがあったと思いますか。(n=14, 単一回答)

問5. 思いどおりにできなかった理由を教えてください。(n=10, 複数回答)



- あった
- どちらかといえばあった
- どちらかといえばなかった
- なかった
- わからない／答えられない
- 不明



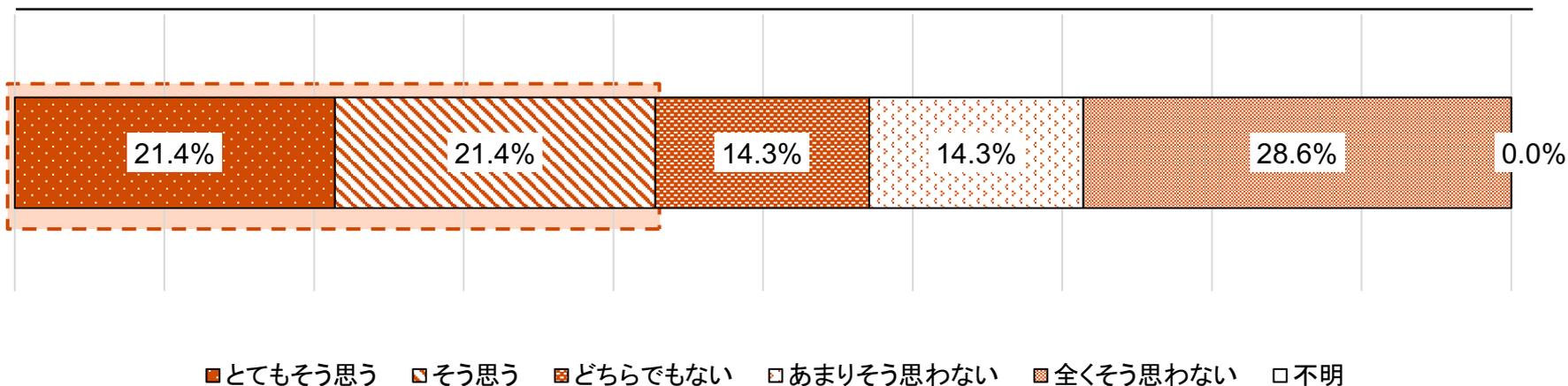
2. 生活での悩みや心配なこと

- 今の生活で悩みや心配なことがあるは。21.4%となっています。
- 専用の相談窓口については、利用したいと「とても思う」「そう思う」は全体の42.8%になっています。

問6.今の生活で悩みや心配なことはありますか。(n=14、単一回答)



問9.悩みや心配なことがあるとき、専用の相談窓口があれば、利用したいと思いますか。(n=14、単一回答)



Thank you

© 2025 PricewaterhouseCoopers Japan LLC, PwC Consulting LLC, PwC Advisory LLC, PwC Tax Japan. All rights reserved. PwC refers to the PwC network member firms and/or their specified subsidiaries in Japan, and may sometimes refer to the PwC network. Each of such firms and subsidiaries is a separate legal entity. Please see www.pwc.com/structure for further details.

This content is for general information purposes only, and should not be used as a substitute for consultation with professional advisors.